

文化スポーツ観光部

その他事業

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	1	説明資料	17	項目番号	2(1)																
事務事業名		企画課一般事務費									所管部課名		文化スポーツ観光部																	
													企画課																	
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務																													
根拠法令																														
事業目的	企画課及び部全体における事務を円滑に進める									分野別計画																				
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度決算		令和 7 年度予算		単位																	
a 事業費（予算現額・支出済額）					846		519		479		828		千円																	
b 人件費					16,018		17,266		18,009		17,907		千円																	
正規職員					1.8		1.9		1.9		1.9		人																	
再任用職員（短時間を含む）					0.0		0.0		0.0		0.0		人																	
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					905		981		1,036		1,086		千円																	
総経費（a + b）					16,864		17,785		18,488		18,735		千円																	
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>846</td><td>16,018</td><td>16,864</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>519</td><td>17,266</td><td>17,785</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>479</td><td>18,009</td><td>18,488</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	846	16,018	16,864	令和6年度決算	519	17,266	17,785	令和7年度決算	479	18,009	18,488
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	846	16,018	16,864																											
令和6年度決算	519	17,266	17,785																											
令和7年度決算	479	18,009	18,488																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）		特になし																												
今後の事業の方向性		社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	22	項目番号	2(1)
事務事業名	文化行政推進事業										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												文化振興課		

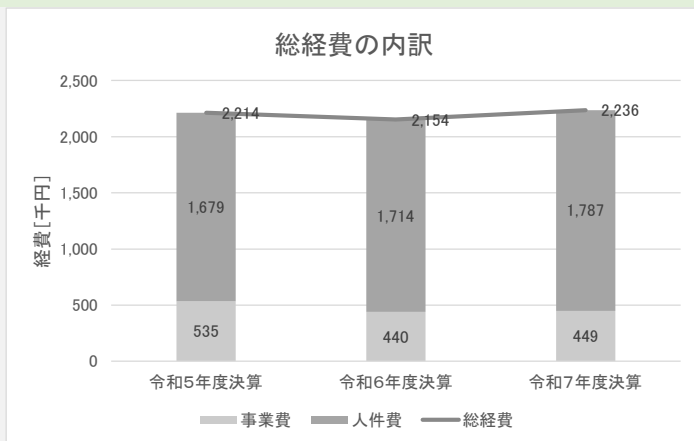
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	文化行政の総合的な企画、調整及び推進を図る。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	・文化振興の基本的事項に関し、市長の諮問に応ずるため、横須賀市文化振興条例第13条に基づき、附属機関として横須賀市文化振興審議会を設置し、その運営を行う(委員数10人以内。委嘱や市民公募委員の選定も含む)。 ・4年に1回、文化振興基本計画の改訂、毎年文化振興基本計画の進捗管理を行う。 ・文化行政専門委員の委嘱(文化行政の推進にあたり、専門的な立場からの指導・助言を得るため、文化行政専門委員を委嘱する)を行う。 ・團伊玖磨氏から寄贈された楽譜等の管理を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	535	440	449	610	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,214	2,154	2,236	2,381	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・文化振興審議会の実施(1回)	・文化振興審議会の実施(1回)	・文化振興審議会の実施(1回)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R5→R6】消耗品費の減額(90千円→27千円)及び旅費支出減に伴う、事業費の減 【R6→R7】出席委員数に伴う委員報酬の増などによる、全体の事業費の増
今後の事業 の方向性	文化振興基本計画をもとに、文化振興審議会や文化行政専門委員からの助言を活用して、他部局と調整して横須賀の文化振興行政を運営していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(2)																
事務事業名		市民文化資産等保存振興事業									所管部課名		文化スポーツ観光部 文化振興課																	
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令																														
事業目的	横須賀市文化振興条例第12条「市民文化資産の指定等」の規定に基づき、本市の文化振興に資する市民文化資産の保存・活用を図る。									分野別計画	文化振興基本計画																			
具体的な事業内容	市民文化資産の保存・活用を行うため、以下の事業を実施している。 ・市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金の支給。(有形文化資産・建造物:60,000円、有形文化資産・建造物以外:20,000円) ・市民文化資産の修理に対する補助金の交付。(修理に要する費用のうち、10万円を超えた部分の2分の1以内の額で300万円を限度) ・新たな市民文化資産指定のため、指定候補の選定作業を調査員に依頼。 ・市民文化資産の説明板の修理等(必要に応じて張り替え、修理等を実施) ・指定件数24件(建造物8件、建造物以外16件:令和8年3月末現在)																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度決算	令和7年度予算	単位																					
a 事業費(予算現額・支出済額)					815	483	1,135	1,140	千円																					
b 人件費					1,679	857	893	885	千円																					
正規職員					0.2	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員(短時間を含む)					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費(a + b)					2,494	1,340	2,028	2,025	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>815</td><td>1,679</td><td>2,494</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>483</td><td>857</td><td>1,340</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>1,135</td><td>893</td><td>2,028</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	815	1,679	2,494	令和6年度決算	483	857	1,340	令和7年度決算	1,135	893	2,028
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	815	1,679	2,494																											
令和6年度決算	483	857	1,340																											
令和7年度決算	1,135	893	2,028																											
令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績					令和7年度の活動実績																				
①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000円 (イ)建造物以外 240,000円 ②案内板の修繕・設置 128,700円 ③市民文化資産(永島家の長屋門)の修繕 197,000円					市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000円 (イ)建造物以外 240,000円					①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア)建造物4件 240,000円 (イ)建造物以外 240,000円 ②市民文化資産(永島家の長屋門)の修繕 652,000円																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)		【R5→R6】R6年度は案内看板の修繕や臨時的な修繕に対する補助金支出がなかったため、支出減 【R6→R7】R7年度は、臨時的な修繕(長屋門の壁の補修)に対する補助金支出があったため、支出増																												
今後の事業の方向性		今後も地域の文化的遺産の保存・活用を図るため、継続して事業を実施する必要がある																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(3)
事務事業名	明日の文化活動担い手育成事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											文化振興課		

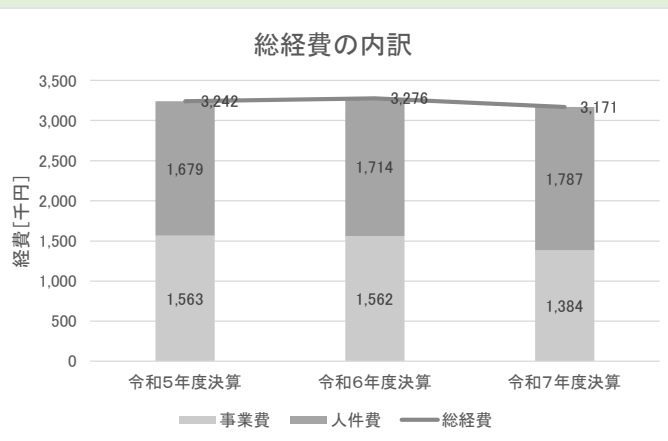
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	将来の文化活動の担い手となる子どもたちの文化への関心を高めるため、子どもを中心とした次世代へ向けて、文化活動に触れる機会や歴史を知る機会を提供する					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	・伝統芸能ワークショップの開催 ・歴史小冊子等の発行 ・出前授業の開催						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,563	1,562	1,384	1,498	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,242	3,276	3,171	3,269	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
①伝統芸能ワークショップの開催(2日間 参加者60人) ②小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷(12,000部) ③小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷(5,100部) ④小冊子「ペリーと横須賀」の増刷(4,000部) ⑤小冊子「三浦一族の歴史」の増刷(8,000部) ⑥出前授業の実施(2校4回)	①伝統芸能ワークショップの開催(2日間 50人) ②小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷(3,000部) ③小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷(7,700部) ④小冊子「三浦一族の歴史」の増刷(9,000部) ⑤出前授業の実施(5校6回)	①伝統芸能ワークショップの開催(2日間 66人) ②小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷(2,000部) ③小冊子「三浦一族の歴史」の増刷(9,000部) ④小冊子「三浦按針と横須賀」の増刷(1,000部) ⑤小冊子「ペリーと横須賀」の増刷(1,000部) ⑥各小冊子のWebブック(アクセス数1,518件) ⑦出前授業の実施(5校10回)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R5→R6】出前授業件数が増えたため、講師への謝礼としての報償費は増加したが、冊子の増刷などが前年に比べ少なかったため、ほぼ増減なし 【R6→R7】出前授業件数が増えたため、講師への謝礼としての報償費は増加したが、冊子の増刷などが前年に比べ少なかったため、ほぼ増減なし	
今後の事業の方向性	大河ドラマを契機とした郷土愛の醸成を図るため、小栗上野介忠順に関連する小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の改訂や、出前事業に小栗に関する新メニューを加える。 また、小冊子については、Webブックを活用するなど、広く周知する方法を取り入れ、将来の文化活動の担い手の育成のため、引き続き取り組みを続けていきたい。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(4)																
事務事業名		近代歴史遺産活用事業									所管部課名		文化スポーツ観光部																	
													文化振興課																	
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令																														
事業目的	本市に多く点在する近代歴史遺産を次世代へその歴史を伝えていくことを目指す。									分野別計画		文化振興基本計画																		
具体的な事業内容	近代歴史遺産をはじめとする本市の歴史の周知と次世代への継承を目的として、出前授業や歴史小冊子の作成や近代歴史遺産活用事業推進協議会の運営を行う(委員数15人以内、委嘱や選定も含む)。令和7年度、協議会は会議を1回開催した。令和3年度にルートミュージアム推進事業が始まってからはほぼ事業を移管し、この事業では協議会の運営のみとなっている。																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度決算		令和7年度予算		単位																	
a 事業費 (予算現額・支出済額)					4		78		81		90		千円																	
b 人件費					0		857		893		885		千円																	
正規職員					0.0		0.1		0.1		0.1		人																	
再任用職員 (短時間を含む)					0.0		0.0		0.0		0.0		人																	
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					0		0		0		0		千円																	
総経費 (a + b)					4		935		974		975		千円																	
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table border="1"><caption>総経費の内訳 (千円)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>78</td><td>857</td><td>935</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>81</td><td>893</td><td>974</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	4	0	4	令和6年度決算	78	857	935	令和7年度決算	81	893	974
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	4	0	4																											
令和6年度決算	78	857	935																											
令和7年度決算	81	893	974																											
令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績					令和7年度の活動実績																				
なし					①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(1回:書面開催)					①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(1回)																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)		【R5→R6】2年間の任期満了に伴い、R6に新たに協議会の委員を委嘱し、協議会を開催した。 【R6→R7】協議会を対面1回開催したことにより、食糧費と市外委員の費用弁償(日帰り)が増加した。																												
今後の事業の方向性		higaeri																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(1)
事務事業名	地域文化振興事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

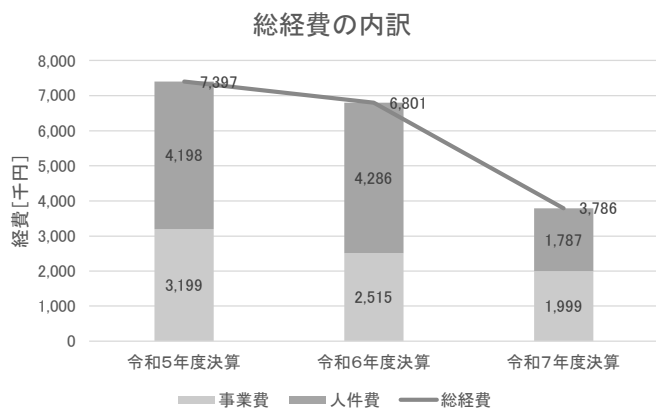
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市の歴史的・地域資源である、「三浦一族の歴史」や「開国期を中心とした歴史」を広く普及させるため、三浦一族・開国史研究会に事業を委託し、歴史の掘り起こしを通じて市民文化の振興と市民の郷土愛の向上を図る。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	三浦一族研究会・開国史研究会 ・総会、講演会、各種講座、史跡めぐり等の実施 ・機関誌（年1回）、会報誌の作成・発行 ・その他「三浦一族の歴史」や「開国期」の普及に関すること						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	3,199	2,515	1,999	2,052	千円
b 人件費	4,198	4,286	1,787	1,771	千円
正規職員	0.5	0.5	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	7,397	6,801	3,786	3,823	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
三浦一族研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者300名 (2)講座(29回) 参加者268名 (3)機関誌の発行(620部) 研究会会員数394名 開国史研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者245名 (2)講座(9回) 参加者154名 (3)機関誌の発行(500部) 研究会会員249名 会津まつりへの随行 (1)参加者「横須賀民謡普及会」29名・市職員2名	三浦一族研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者422名 (2)講座(21回) 参加者233名 (3)機関誌の発行(620部) 研究会会員数302名 開国史研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者317名 (2)講座(15回) 参加者125名 (3)機関誌の発行(400部) 研究会会員数228名	三浦一族研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者203名 (2)講座(17回) 参加者190名 (3)機関誌の発行(520部) 研究会会員数264名 開国史研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者230名 (2)講座(9回) 参加者161名 (3)機関誌の発行(350部) 研究会会員数198 名

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度における事務事業見直し計画により、三浦一族研究会及び開国史研究会の事業（委託）のあり方を見直すとともに、両研究会の自主的な運営を図ることで、事業にかかる人件費を大幅に削減した。
今後の事業の方向性	三浦一族・開国史研究会へ委託している史実の普及事業は、郷土愛の醸成において、今後、大矢部みどりの公園の活用や、大河ドラマに関する取り組みの中で、より重要になるため、引き続き両研究会と歴史文化資源の伝承に努めていく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(2)
事務事業名	市民文化活動推進事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

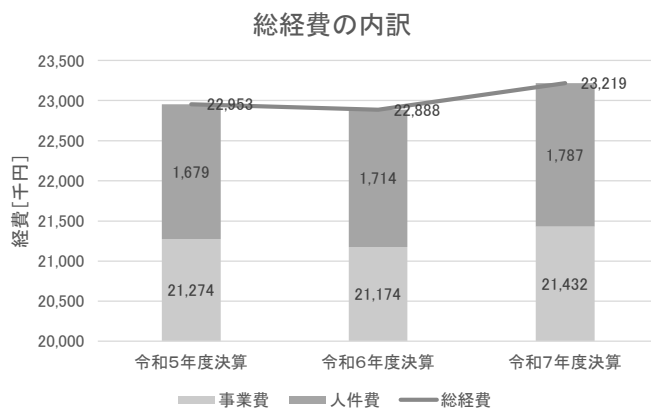
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市民に日頃の文化活動の成果の発表の機会および芸術文化鑑賞の機会を提供するなど、市民ニーズに適した各種の文化事業を実施し、市民の文化活動を支援する。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	効率的な運営を図るため、事業を(公財)横須賀市生涯学習財団に委託する。事業内容等は以下のとおり。 ・市民文化祭の開催(春と秋に開催) ・組曲「横須賀」演奏会(年1回) ・市民音楽のつどい(年1回) ・市民合唱のつどい(年1回) ・カジュアルコンサート(年1回) ・ファミリーコンサート(年1回)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	21,274	21,174	21,432	21,432	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	22,953	22,888	23,219	23,203	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
(ア)市民文化祭 21行事(春季:2、秋季:19) 入場者:8,690人 (イ)第38回組曲「横須賀」演奏会 5月3日 入場者:703人 (ウ)第46回市民音楽のつどい 6月11日 入場者:635人 (エ)第47回市民合唱のつどい 11月4日・5日 入場者:1,361人 (オ)カジュアルコンサート 令和6年1月21日 入場者:1,063人 (カ)ファミリーコンサート 令和6年3月17日 入場者:1,094人	(ア)市民文化祭 20行事(春季:2、秋季:18) 入場者:9,945人 (イ)第39回組曲「横須賀」演奏会 4月14日 入場者:1,057人 (ウ)第47回市民音楽のつどい 6月9日 入場者:625人 (エ)第48回市民合唱のつどい 11月2日・3日 入場者:1,275人 (オ)カジュアルコンサート 令和7年1月19日 入場者:811人 (カ)ファミリーコンサート 令和7年3月9日 入場者:866人	(ア)市民文化祭 21行事(春季:2、秋季:19) 入場者:8,374人 (イ)第40回組曲「横須賀」演奏会 4月13日 入場者:647人 (ウ)第48回市民音楽のつどい 6月8日 入場者:494人 (エ)第49回市民合唱のつどい 11月1日・2日 入場者:1,368人 (オ)カジュアルコンサート 令和8年1月18日 入場者:868人 (カ)ファミリーコンサート 令和8年3月8日 入場者:1,013人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R5→R6】生涯学習財団への委託料は変更なし。広報掲示板ポスターの掲載回数が6回から4回に減ったことによる印刷製本費減。 【R6→R7】生涯学習財団への委託料のうち人件費にかかる費用が増額したことによる増。
今後の事業 の方向性	市民に日頃の文化活動の成果の発表の機会および芸術文化鑑賞の機会を提供するなど、市民ニーズに適した各種の文化事業を実施し、市民の文化活動を支援していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	27	項目番号	3(3)
事務事業名	文化団体支援事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											文化振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内の文化団体の活動に対し、支援・補助を行うことにより、本市の文化活動の活性化を目的とする。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	・文化団体が主催する事業に対して、市の共催・後援名義の使用を承諾し、文化団体の活動を支援する。 ・共催・後援名義の使用を承諾した事業のうち、公募作品展などに対して、市長賞として賞状および楯等の賞品を交付する。 ・市内の各種文化団体を統括する横須賀文化協会に補助金を交付することで、横須賀文化協会の活動を促進する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	858	863	863	869	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,537	2,577	2,650	2,640	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・共催及び後援名義承諾件数 72件(共催:3件、後援:69件) ・市長賞交付件数 賞状8件(内、楯:2件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)	・共催及び後援名義承諾件数 64件(共催:2件、後援:62件) ・市長賞交付件数 賞状11件(内、楯:4件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)	・共催及び後援名義承諾件数 63件(共催:2件、後援:61件) ・市長賞交付件数 賞状10件(内、楯:4件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R5→R6】文化団体活動補助金（文化協会）は、前年度同様、上限額（84万円）を支給した。市長賞副賞の交付件数はやや増加し、楯の支出も2件分増加した。（楯5,720円/件） 【R6→R7】文化団体活動補助金（文化協会）は、前年度同様、上限額（84万円）を支給した。そのほか事業費増減なし。
今後の事業 の方向性	市民の文化団体の活動を支援するため、継続する。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	27	項目番号	4(1)
事務事業名	歴史文化基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を歴史文化基金に積み立て、文化の継承に資する事業の振興を図る。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を、歴史文化基金へ積み立てる。 歴史文化基金は、市民文化資産保存振興事業のほか、明日の文化活動担い手育成事業、文化財に関する事業などへ活用することにより、文化の継承に資する事業の振興を図るための財源となっている。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	25,191	27,125	25,342	2,866	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	26,031	27,982	26,235	3,751	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・歴史文化基金利子収入 4,719円 ・ふるさと納税 25,102,500円 ・指定寄附分の積立(文化財保護整備事業) 84,128円 合計 25,191,347円	・歴史文化基金利子収入 34,746円 ・ふるさと納税 26,980,361円 ・指定寄附分の積立(文化財保護整備事業) 109,679円 合計 27,124,786円	・歴史文化基金利子収入 224,906円 ・ふるさと納税 25,052,851円 ・指定寄附分の積立(文化財保護整備事業) 63,896円 合計 25,341,653円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R5→R6】積立金の残高が増えたため利子収入が増。また、ふるさと納税や指定寄附の金額も増加している。 【R6→R7】ふるさと納税が前年より減額したことによる減。
今後の事業の方向性	広く文化の継承に資するための基金として、歴史のほか、市民が楽しめる音楽などについても活用を図っていく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	27	項目番号	5(1)																
事務事業名	文化振興課一般事務										所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし		事業終了の見込		未定																					
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務																													
根拠法令																														
事業目的	文化振興課における事務を円滑に進める										分野別計画	文化振興基本計画																		
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					114	48	46	55	千円																					
b 人件費					3,520	3,588	3,820	3,851	千円																					
正規職員					0.3	0.3	0.3	0.3	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					1,001	1,017	1,140	1,195	千円																					
総経費（a + b）					3,634	3,636	3,866	3,906	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>114</td><td>3,520</td><td>3,634</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>48</td><td>3,588</td><td>3,636</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>46</td><td>3,820</td><td>3,866</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	114	3,520	3,634	令和6年度決算	48	3,588	3,636	令和7年度決算	46	3,820	3,866
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	114	3,520	3,634																											
令和6年度決算	48	3,588	3,636																											
令和7年度決算	46	3,820	3,866																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R5→R6】消耗品費の減額(132千円→40千円)に伴う消耗品の見直しや、総務課が各所に設置した新規の複合機(カラープリンター)により、課所有のカラープリンターにかかる費用が不要になったことによる、事業費の減。 【R6→R7】事業費の増減ほぼなし。																													
今後の事業 の方向性	社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	29	項目番号	1(1)
事務事業名	芸術劇場管理事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											文化振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。また、複合施設である「ベイスクエアよこすか一番館」に属して、施設の共有部分の管理においても重要な位置を占めている。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	芸術劇場は、公共性、文化性が高い事業を施設管理と一体となって実施し、利用料金収入と指定管理料を財源に舞台音楽芸術普及事業、育成事業、各種サービス事業を展開している。平成18年度から指定管理者制度が導入され、指定管理者による管理運営となった。直近では令和4年に公募による指定管理者選定を実施し、公益財団法人横須賀芸術文化財団が選ばれ、現在も運営している。また、複合施設であるベイスクエアよこすか一番館に属するため、施設の共有部分の管理にかかる経費を所有割合に応じて市が負担している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	570,311	538,817	528,628	551,971	千円
b 人件費	2,519	2,571	2,680	2,656	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	572,830	541,388	531,308	554,627	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金143,338,129円） ・舞台用備品の購入（備品購入費2,190,320円） ・その他事務（995,750円） ・指定管理施設光熱費等補助金（R4年度分）（負担金、補助及び交付金14,659,027円） ※令和4年度からの明許繰越分 ・指定管理施設光熱費等補助金（R5年度分）（負担金、補助及び交付金6,909,219円） ※残りは令和6年度へ明許繰越。	・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料371,548,000円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金150,089,296円） ・舞台用備品の購入（備品購入費375,485円） ・その他事務（5,182,240円） ・指定管理施設光熱費等補助金（R5年度分）（負担金、補助及び交付金2,181,332円） ※令和5年度からの明許繰越分 ・指定管理施設光熱費等補助金（R6年度分）（負担金、補助及び交付金9,440,818円） ※残りは令和7年度へ明許繰越。	・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料371,548,000円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金152,680,025円） ・舞台用備品の購入（備品購入費1,126,950円） ・その他事務（989,134円） ・指定管理施設光熱費等補助金（R7年1月から3月分）（負担金、補助及び交付金2,283,816円） ※令和6年度からの明許繰越分 ※令和7年度については、予算を全額明許繰越。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R5→R6】新しい指定管理期間の開始に伴い指定管理料が減少した。（402,218,355円→371,548,000円） ・ベイスクエアよこすか一番館管理負担金が光熱水費等の影響により増額した。（143,338,129円→150,089,296円） ・その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填が終了したが、施設管理にかかる緊急修繕を2件実施した。（2件5,170,000円） ・指定管理施設光熱費等補助金は、R5年度（R4繰越はR4.4～3月、R5現年はR5.4～12月）とR6年度（R5繰越はR6.1～3月、R6現年はR6.4～12月）で支払い対象期間が異なったため、減少した。 【R6→R7】ベイスクエアよこすか一番館管理負担金が光熱水費の影響により増額した。（150,089,296円→152,680,025円） ・指定管理施設光熱費等補助金は、R6年度（R5繰越はR6.1～3月、R6現年はR6.4～12月）と、R7年度（R6繰越はR7.1月～3月）で支払い対象期間が異なったため、減少した。	
今後の事業 の方向性	令和6年度より新しい指定管理期間になったため、新たな運営計画の下、新たな芸術劇場としての運営を展開できるよう指定管理者と引き続き連携する。 令和6年度から始まった特定天井改修工事の完了に向けた進捗管理や、令和8年9月のリニューアルオープンに向け指定管理者と連携する。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	14	説明資料	30	項目番号	1(2)
事務事業名	文化会館等管理事業										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												文化振興課		

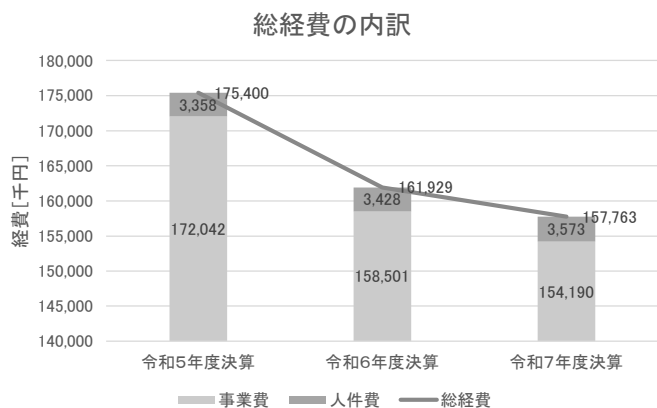
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	文化会館、はまゆう会館は、平成18年度から指定管理者制度が導入され、利用料金収入と指定管理料を財源に指定管理者による管理運営を実施している。直近では、令和3年に公募による指定管理者選定を実施し、よこすか文化パートナーズが選ばれ、現在も運営している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	172,042	158,501	154,190	161,787	千円
b 人件費	3,358	3,428	3,573	3,541	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	175,400	161,929	157,763	165,328	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料149,999,068円) ・舞台備品の購入 (備品購入費2,122,120円) ・その他事務(944,980円) ・指定管理施設光熱費等補助金(R4年度分) (負担金、補助及び交付金9,729,590円) ※令和4年度からの明許繰越分 ・指定管理施設光熱費等補助金(R5年度分) (負担金、補助及び交付金9,245,299円) ※残りは令和6年度へ明許繰越。		・文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料149,999,068円) ・PCB廃棄物の処理 (業務委託料1,386,000円) ・その他事務(49,280円) ・指定管理施設光熱費等補助金(R5年度分) (負担金、補助及び交付金623,409円) ※令和5年度からの明許繰越分 ・指定管理施設光熱費等補助金(R6年度分) (負担金、補助及び交付金6,443,503円) ※残りは令和7年度へ明許繰越。	・文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料149,999,068円) ・中ホール用備品の購入 (備品購入費875,702円) ・文化会館開館60周年記念事業 (負担金330,000円) ・その他事務(953,398円) ・指定管理施設光熱費等補助金(R7年1月から3月分) (負担金、補助及び交付金2,031,605円) ※令和6年度からの明許繰越分 ※令和7年度については、予算を全額明許繰越。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R5→R6】 ・指定管理施設光熱費等補助金は、前年度に比べ、影響額も少なく、支払い対象期間も異なったため、減少した。(R5繰越1月～3月分623,409円、R6現年度4月～12月分6,443,503円)。 【R6→R7】 ・指定管理施設光熱費等補助金は、R6年度(R5繰越はR6.1～3月、R6現年はR6.4～12月)と、R7(R6繰越 R7. 1月～3月)で支払い対象期間が異なったため、減少した。		
今後の事業 の方向性	文化会館、はまゆう会館の老朽化に伴い、建物の改修等について検討しつつ、利用者の利便性のさらなる向上を図るとともに、事業内容の更なる検討・改善を重ねながら今後も維持継続していく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	32	項目番号	2(1)(2)
事務事業名	芸術劇場設備更新事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

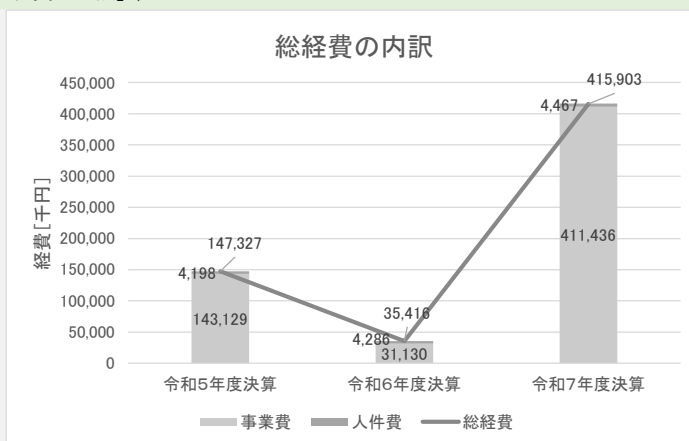
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賄いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	各設備の耐用年数や使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。大劇場及び大・小リハーサル室特定天井改修工事に向け、R3(R4に明許繰越)に基本設計業務を実施、R4(R5に明許繰越)に実施設計業務を実施し、R6より特定天井改修工事を実施する(R7～R8継続事業)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	143,129	31,130	411,436	1,834,673	千円
b 人件費	4,198	4,286	4,467	4,427	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	147,327	35,416	415,903	1,839,100	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・舞台音響設備修繕(10,010,000円) ・建物設備工事・修繕(101,827,000円) ・天井改修工事関連 実施設計(31,291,965円) ※令和4年度からの明許繰越分	・天井改修工事関連 天井改修その他工事前払金(22,176,000円) 大劇場舞台機構設備保守業務委託(8,140,000円) 見積徴収業務委託(814,000円)	・建物設備修繕(13,200,000円) ・天井改修工事関連 天井改修その他工事前払金(385,086,000円) 天井改修その他工事工事監理業務委託 (4,130,000円) 大劇場舞台機構保守業務委託(9,020,000円)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	毎年の修繕箇所や規模が違うことにより金額に差異が生じる。 通常範囲の修繕のほか、令和6年度から8年度に実施している天井改修工事の進捗状況に応じた令和7年度分にかかる支払いが発生したため、令和7年度の経費が増大した。
今後の事業 の方向性	計画的な修繕等は実施しているが、経年的な劣化は避けられないため、その他付随する箇所の修繕を計画的に実施する必要がある。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	33	項目番号	2(3)
事務事業名	文化会館等設備更新事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

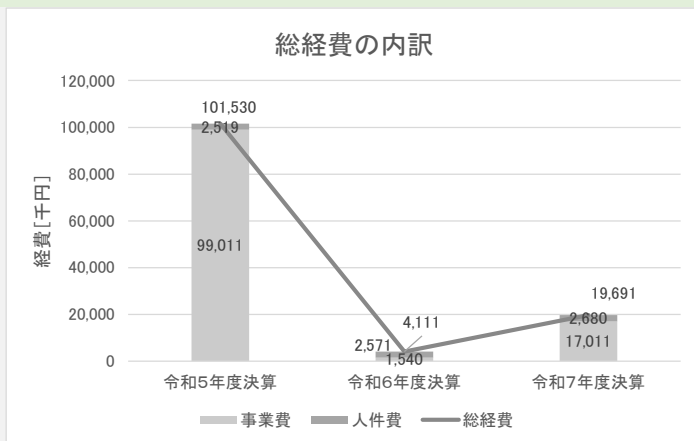
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賄いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。					分野別計画	文化振興基本計画
具体的な事業内容	各設備の耐用年数或使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	99,011	1,540	17,011	24,754	千円
b 人件費	2,519	2,571	2,680	2,656	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	101,530	4,111	19,691	27,410	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・建物設備修繕(6,105,000円) ・その他事務費(38,500円) ・建物設備工事(92,866,600円) ※令和 4年度からの明許繰越分。	・舞台機構設備修繕(1,540,000円)	・舞台音響設備修繕(6,380,000円) ・舞台付属設備修繕(4,175,248円) ・建物設備修繕(6,455,350円)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	毎年の修繕箇所や規模が違うことにより金額に差異が生じる。 通常範囲の修繕のほか、全庁的に実施しているトイレ洋式化更新修繕等にかかる支払いが発生したため、令和7年度の経費が増大した。
今後の事業 の方向性	計画的な修繕等は実施しているが、経年的な劣化は避けられない。費用が圧縮できるよう関係者で協議を継続していくほか、建物の改修等についても検討していく必要がある。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	37	項目番号	2(2)
事務事業名	美術館教育普及事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										美術館運営課		

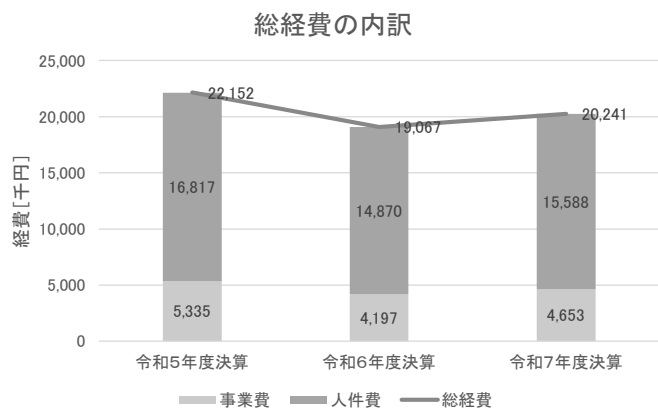
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術への理解を深め、美術館への親しみが持てるように、講演会やワークショップを開催するとともに、要望に応じた鑑賞補助プログラムや、学校と連携した鑑賞教育を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・講演会、ワークショップ、ギャラリートーク等教育普及事業の実施。 ・美術館ボランティアに対する研修およびイベント開催のサポート。 ・作品理解や展覧会理解のための印刷物、動画等のコンテンツ制作。 ・小学生美術鑑賞会等の学校連携事業。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,335	4,197	4,653	4,978	千円
b 人件費	16,817	14,870	15,588	15,356	千円
正規職員	1.6	1.3	1.3	1.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	3,383	3,728	3,975	3,847	千円
総経費（a + b）	22,152	19,067	20,241	20,334	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
対面型の事業を全面的に再開し、講演会やワークショップに加え、音楽会やライブペインティングなど幅広い事業を行った。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会7回 参加者計338人 ワークショップ8回 参加者計124人 音楽会、ライブペインティングなど5回 参加者計334人 ギャラリートーク(学芸員)4回 参加者計49人 (2) 展覧会以外の教育普及事業 ワークショップ20回 参加者計344人 映画会4回 参加者計609人 ボランティア・イベント9回 参加者数計245人 農水産業振興課との連携イベント2回 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 88団体。総参加者数3,508人	講演会や連続講座、ワークショップなど、幅広い事業を行った。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会7回 参加者計267人 ワークショップ16回 参加者計1,079人 ギャラリートーク(学芸員)6回 参加者計81人 (2) 展覧会以外の教育普及事業 ワークショップ22回 参加者計383人 映画会4回 参加者計93人 ボランティア・イベント8回 参加者数計375人 農水産業振興課との連携イベント2回 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 85団体。総参加者数3,456人	講演会や連続講座、ワークショップなど、幅広い事業を行った。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会9回 参加者計445人 ワークショップ6回 参加者計76人 パフォーマンス6回 参加者計287人 ギャラリートーク(学芸員)4回 参加者計83人 (2) 展覧会以外の教育普及事業 ワークショップ19回 参加者計279人 映画会2回 参加者計850人 ボランティアイベント3回 参加者数計217人 農水産業振興課との連携イベント2回 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 63団体。総参加者数2,860人
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策のために中止していた対面型の事業を全面的に復活させるとともに、音楽会やライブペインティングなど幅広い事業を実施した。 令和6年度の経費減少は、人件費の算出変更と、ボランティアイベントなど普及事業全体にかかる消耗品費を他事業費へ集約したことによるもので、実施事業数やその質としては変わらず、従来と同様に幅広い事業を実施し、多くの参加者を獲得することができた。 令和7年度は、11月から3月まで改修工事に伴い休館したため事業数は一部減少したものの、休館前までになるべく多くの事業を実施し、例年通りに近い幅広い教育普及事業を展開して一定の成果を上げた。	
今後の事業の方向性	事業目的を達成するために、未就学児や児童生徒、成人、高齢者など幅広い世代のニーズを把握するよう努め、講演会やワークショップなどのイベントの企画に活かす。また、随時来館する学校団体などに対しても細やかに対応をすることで、新規の来館者を増やすとともに、リピーターの獲得を目指していく。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	37	項目番号	2(3)
事務事業名	美術品収集管理保管事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										美術館運営課		

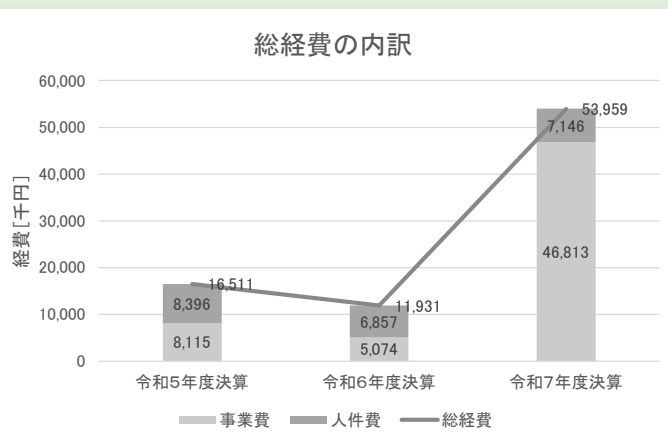
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	所蔵作品を館内外の展示等で有効に活用するため、美術館の使命の一つである美術品の収集、保存、管理を適切に行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・美術品収集（購入、寄贈等）およびそのための調査 ・横須賀美術館美術品評価委員会の開催 ・所蔵作品の修復および額装 ・所蔵作品の貸し出し ・収蔵・展示施設の環境調査						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	8,115	5,074	46,813	47,908	千円
b 人件費	8,396	6,857	7,146	7,082	千円
正規職員	1.0	0.8	0.8	0.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	16,511	11,931	53,959	54,990	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・美術品の整理 修復1点、額装49点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入20点、寄贈343点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 5件、貸出点数18点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。		・美術品の整理 修復2点、額装3点、マット装38点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入0点、寄贈255点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 6件、貸出点数19点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。	・美術品の整理 修復2点、額装21点、マット装11点。 ・美術品評価委員会の開催 2回。 ・作品の受け入れ 購入23点、寄贈217点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 5件、貸出点数226点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の 増減理由等)	令和元年度に設置したふるさと納税等の寄附による美術品等取得基金を財源とし、令和3年度以降美術品を購入している。 令和4年度は2,500千円、令和5年度は3,300千円的美術品購入を行った。 令和6年度は調整に時間を要して年度内での美術品購入完了が困難となったため、令和7年度に購入を繰り越した。 令和7年度は、令和6年度から繰り越した24,891千円の購入に加え、当年度分として16,000千円的美術品購入を行ったことから、例年に比べ事業費が大幅に増加している。		
今後の事業 の方向性	収集方針に沿った体系的な収集につとめる。 有限である収蔵施設を適正な状態に保つため、作品の整理整頓と清掃を行う。 作品データベースの公開と、画像データの管理について仕組みを検討する。 所蔵する作品の状態調査をさらに進め、適切な修復・額装を行う。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	38	項目番号	2(4)
事務事業名	美術館運営事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											美術館運営課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	図書室の運営のほか、美術館運営評価制度の運用、広報宣伝事業、全館共通印刷物制作、地域連携など館全体に関わる事業を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・図書室の運営に係る会計年度任用職員の雇用、美術図書の購入や収集調査 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館ニュースの発行 ・広報物の送付やX等SNSの運用、交通広告やメディアへの広告や取材対応 ・団体観覧への対応、地域との連携事業						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	6,078	7,294	5,684	7,097	千円
b 人件費	25,464	26,596	26,471	26,272	千円
正規職員	1.8	1.8	1.8	1.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	10,351	11,168	10,392	10,337	千円
総経費（a + b）	31,542	33,890	32,155	33,369	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・図書資料の収集 731冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、X等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 443件、テレビ・ラジオ放送 55件 ・商業撮影 32件 ・団体観覧の受入 13,448人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 9回		・図書資料の収集 769冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、X等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 1,000件、テレビ・ラジオ放送 46件 ・商業撮影 22件 ・団体観覧の受入 9,870人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 6回	・図書資料の収集 646冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、X等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 841件、テレビ・ラジオ放送 39件 ・商業撮影 20件 ・団体観覧の受入 6,120人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 6回
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【令和5年度】令和4年度は運慶展広報用印刷物を制作したが、令和5年度は制作しないため、事業費が減少した。／テレビCM撮影や有名アーティストのミュージックビデオ撮影などを積極的に受け入れたこと、世界の絶景美術館に選出されたことなども契機となって、コロナ禍において減少していた団体観覧が急増した。／展覧会観覧に繋げるため、開館中の展示室内でのウェルカムコンサートを開始した。 【令和6年度】隔年で増刷している『谷内六郎コレクション120』図録の制作があったこと等による。／注目度の高いジブリ展をはじめ、運慶展やタリ展の開催、およびPR TIMESの活用により、メディア掲載数が増加した。／リリースやSNS発信によりアジサイの名所としての認知度も向上してきており、商業撮影のみならず季節の花々などでのテレビ露出も増加した。／開館中の展示室内でのウェルカムコンサートが定着しつつある。 【令和7年度】隔年で増刷している『谷内六郎コレクション120』図録の制作分の減。／当館として初となる建築展・山本理顕展や、改修工事による長期休館前最後などで、メディアからの注目度が上がった。／プリツカ賞や、アジサイの名所としての認知度向上により、建物・季節の花々などでのテレビ露出も増えている。／引き続き開館中の展示室内でのウェルカムコンサートを開催した。 なお、各年度で、美術館アドバイザーに広報及び来館促進に関するアドバイスをいただながら、より良い事業展開を図っている。(令和5～7年度は、主な活動の経費に美術館アドバイザー報酬を含む)		
今後の事業の方向性	SNS等の訴求活動を通じた情報発信や、積極的な取材や商業撮影の受入れなどで、横須賀美術館の認知度は高まっていると感じている。 令和8年度は、改修工事を経て再オープンすることによる注目度の高まりが見込まれることや、令和9年度には、開館20周年を迎える年となることから、美術館のPRを一層強くするため訴求活動や外部連携を強化していきたい。 図書室については、今後も美術への興味や理解が深まる場の提供を目的として、美術関連の資料(図書、カタログ等)を収集し、整理・保管を実施していく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	39	項目番号	3(1)
事務事業名	美術館管理事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											美術館運営課		

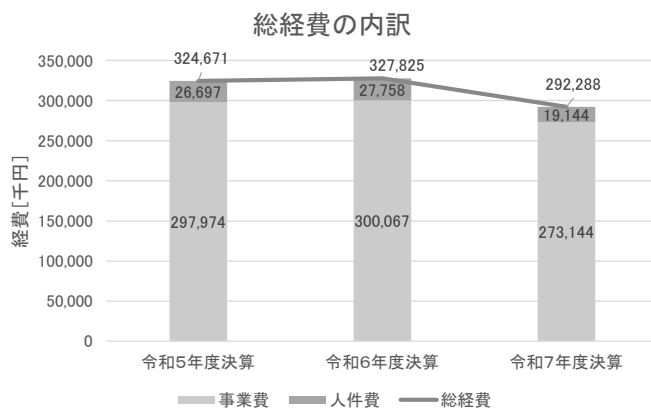
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	・横須賀美術館を適正に維持管理し、施設を永く維持できるようにする。 ・円滑な運営を行うことで、利用者の満足度を高める。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・施設及び敷地の適正な維持管理。 ・受付・展示監視及び施設の清掃、警備、各種設備の保守管理委託及び委託業者との連絡調整。 ・委託事業者、レストラン、ミュージアムショップと連携し、ホスピタリティのある来館者サービスを実施。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	297,974	300,067	273,144	277,261	千円
b 人件費	26,697	27,758	19,144	19,913	千円
正規職員	2.4	2.4	1.4	1.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	6,547	7,188	6,638	7,519	千円
総経費（a + b）	324,671	327,825	292,288	297,174	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・非常用発電機の故障に伴う修繕 ・空調熱源設備2台の故障に伴う内部機構の交換修繕 ・本館屋根ガラスの防水(シーリング)工事		・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・空調機(エアハンドリングユニット)の老朽化に伴う劣化部品の交換修繕 ・空調自動制御機器の交換修繕 ・空調熱源設備の故障に伴う内部機構の交換修繕	・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・空調機(AHUおよびOAC)の故障に伴う内部機構の交換修繕 ・本館屋根ガラスの老朽化に伴う防水(シーリング)工事 ・地下展示室用LEDスポットライトの老朽化に伴う更新整備
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)		令和6年度は「鈴木敏夫とジブリ展」の開催に伴う関連経費の支出や空調設備の修繕等があったが、令和7年度は前年度に実施した備品整備やシステム導入がなかったことに加え、地下展示室用LEDスポットライトの購入費用を市債へ振り替えたこと、および施設の大規模修繕工事に伴う休館により光熱水費等の経常経費が抑えられたため、事業費は前年度を下回っている。	
今後の事業 の方向性		引き続き施設・設備の適切な保守管理を行い、良好な鑑賞環境の維持と施設の長寿命化に努める。 今後も委託業務の効率化や省エネルギー対策による光熱水費の抑制を図るなど、経費節減を意識した適正な維持管理を継続していく。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	40	項目番号	3(2)
事務事業名	美術館大規模改修事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										美術館運営課		

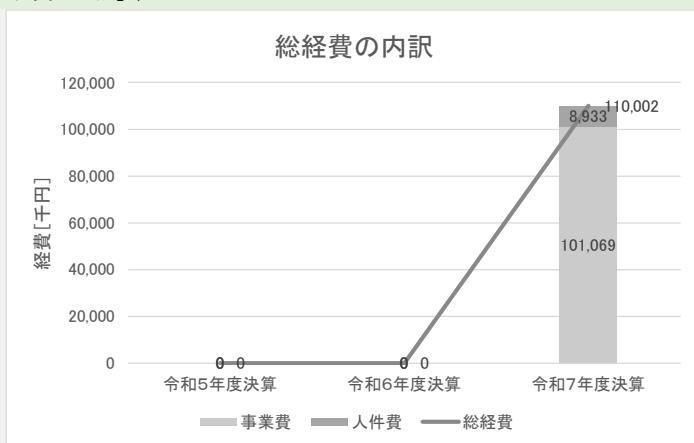
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	令和9年度
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	・横須賀美術館の改修工事を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・防火戸等改修工事 ・鉄部補修等改修工事 ・低層部屋根等改修工事 ・飛散防止フィルム改修工事 ・熱源設備改修工事 ・厨房換気設備改修工事 ・展示スペース照明設備改修工事 ・監視カメラ設備改修工事						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	101,069	285,597	千円
b 人件費	0	0	8,933	8,853	千円
正規職員	0.0	0.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	0	110,002	294,450	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
なし	なし	・令和7年11月4日から美術館を休館し、改修工事を開始した。 ・毎月2回定例会を開催し、工事の進捗管理及び情報共有を行った。 ・定例会には、工事事業者、工事監理受託者、設備・警備受託事業者、学芸員、事務員、市建築計画課職員が参加した。 (完了した工事) ・厨房換気設備改修工事 ・監視カメラ設備改修工事 なお、令和7年度の支出済額には、ESCO事業の設計費、一部LED化を先行して実施した箇所に係る費用、他工事の前払金等が含まれているため、監視カメラ設備改修工事のみの支出額ではない。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和7年度から令和8年度にかけての継続事業として実施している。 令和7年度予算年割額285,597,000円のうち、未支出の184,528,144円を令和8年度に繰り越し、令和8年度の予算現額は611,177,144円となる。
今後の事業 の方向性	残りの工事を予定どおりに実施し、令和8年9月から美術館を再オープンできるよう、工事の進捗管理を継続する。 （予定している工事） ・防火戸等改修工事、鉄部補修等改修工事、低層部屋根等改修工事、飛散防止フィルム改修工事、熱源設備改修工事、展示スペース照明設備改修工事、改修工事管理等業務委託

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	41	項目番号	4(1)
事務事業名	美術品等取得基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										美術館運営課		

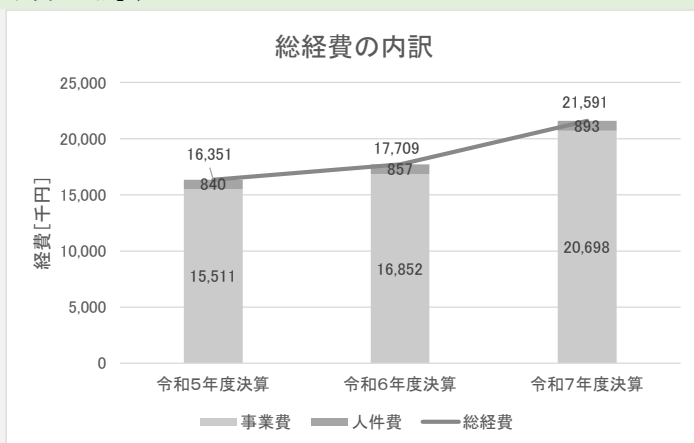
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務							
根拠法令	博物館法							
事業目的	美術館運営に必要な美術品及び美術に関する資料を取得する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	ふるさと納税等による寄附を美術品等取得基金に積立を行い、将来の美術品購入の財源とする。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	15,511	16,852	20,698	20,577	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	16,351	17,709	21,591	21,462	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・美術品等取得基金利子収入 3,677円 ・ふるさと納税 15,379,500円 ・募金箱 127,529円 合計 15,510,706円	・美術品等取得基金利子収入 27,026円 ・ふるさと納税 16,393,961円 ・募金箱 431,029円 合計 16,852,016円	・美術品等取得基金利子収入 190,547円 ・ふるさと納税 20,222,197円 ・募金箱 285,542円 合計 20,698,286円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年10月から「横須賀応援ふるさと納税」の指定寄附先が基金別から5つの分野別に改められた。令和5年度以降、美術品等取得基金には、5つの分野のうち「『音楽・スポーツ・エンターテインメント』によるにぎわいのあるまちづくり」分野を指定した寄附金から相応額が割り振られている。 令和4年度から館内に募金箱を設置し、その寄附金も基金に積み立てている。エントランスの募金箱に加え、令和5年度に地下展示室出口にも募金箱を設置したところ、観覧者数増も相まって募金額が増えた。令和7年度は改修工事による休館期間があるため、募金額は減少している。
今後の事業 の方向性	収集方針に即した体系的な作品収集のため、財源確保を積極的に進める。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	44	項目番号	2
事務事業名	学校体育施設開放奨励事業費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

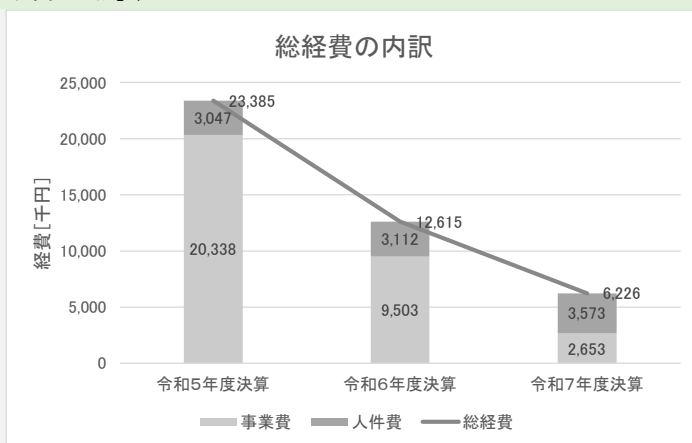
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第13条						
事業目的	スポーツ基本法の趣旨により、青少年及び一般地域住民のスポーツ愛好団体等にスポーツやレクリエーションの場として、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、健全な余暇利用を促進する。さらに、地域児童の安全な遊び場及び自由なコミュニケーションの場として、学校体育施設を開放する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各開放校に地域住民等で構成された運営委員会を設置し、協議しながら円滑に学校体育施設の開放を行っている。 (1)開放校(全市立小中学校にて開放) 小学校44校(46箇所・旧田浦小学校、旧走水小学校含む) 中学校23校(25箇所・旧桜台中学校、旧上の台中学校含む)合計67校(71箇所) (2)開放施設 体育会館(武道館含む)及び校庭						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	20,338	9,503	2,653	5,694	千円
b 人件費	3,047	3,112	3,573	3,541	千円
正規職員	0.3	0.3	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	23,385	12,615	6,226	9,235	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
利用人数(延べ) 1,456,121人		利用人数(延べ) 913,026人 ※これまで各学校が報告していた実績報告について、学校ではなく各利用団体がシステムを利用して、実績を報告する方法に移行を進めていることにより、利用団体側でシステムに入力していないと思われる実績が散見する。そのため、合計の人数としては減少しているが、実態としての学校体育施設の利用に大きな変化や変更は生じていない。	利用人数(延べ) 520,817人 ※令和6年度に引き続き、これまで各学校が報告していた実績報告について、学校ではなく各利用団体がシステムを利用して、実績を報告する方法に移行を進めていることにより、利用団体側でシステムに入力していないと思われる実績が散見する。そのため、合計の人数としては減少しているが、実態としての学校体育施設の利用に大きな変化や変更は生じていない。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【令和5年度→6年度】 令和5年度から自主管理方式への移行を奨励したことにより、令和6年度は自主管理方式を採用する学校が増えたため、減少した。また、小学校・中学校への報償費の上限額を減額したことにより、支出額が減となったことも一因である。 【令和6年度→7年度】 令和7年度は、一般開放については学校体育施設開放事業の対象外とし、団体開放についても第三者管理における管理員への報償金は廃止(桜小学校、大塚台小学校は除く)したため、減少した。		
今後の事業 の方向性	団体開放について、第三者管理における管理員への報償金の廃止を進めながら、今後も継続する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	21	説明資料	45	項目番号	3(1)
事務事業名	市民スポーツ教室										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												スポーツ振興課		

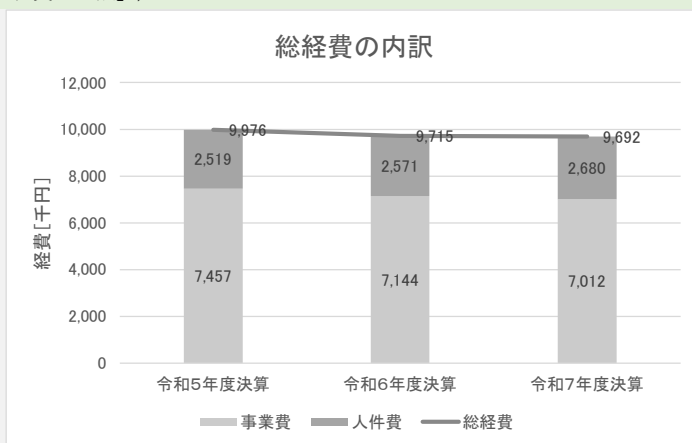
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	スポーツを通して健康づくりを行うこと、スポーツを習慣化すること、スポーツの基礎技術の習得を図ることを目的に、幼児から高齢者までを対象に、各種スポーツに関する教室を開催し、市民に広く健康的に体を動かす機会を提供する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各種目団体にスポーツ教室の運営を委託し、下記の20教室を企画。 ・健康体力つくり教室 ・幼児の体力つくり教室 ・はつらつ体操教室 ・楽しくエアロビック教室 ・スポーツレクリエーション教室(卓球教室、フォークダンス教室) ・小学生水泳教室 ・夏休みジュニア水泳教室 ・冬・春休みファミリー・ジュニアスキー教室 ・ジュニア相撲教室【中止】 ・夏休み小学生ソフトテニス体験教室 ・太極拳教室 ・ジュニア新体操教室 ・ジュニア卓球教室 ・なぎなた教室 ・ジュニアラグビー教室 ・ジュニア陸上教室 ・ジュニアレスリング教室 ・アーチェリー教室 ・ウインドサーフィン教室 ・横浜F・マリノス「エンジョイフットボール」						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	7,457	7,144	7,012	7,332	千円
b 人件費	2,519	2,571	2,680	2,656	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	9,976	9,715	9,692	9,988	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
参加者数 1,925人	参加者数 1,793人	参加者数 1,737人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	20教室あるうち、ジュニア相撲教室の参加申込者数が不足したことから、教室の開催を中止とした。開催教室の数が1教室減少したことにより事業費が減少したため、総経費も減少した。
今後の事業 の方向性	拡充と共に、参加率が乏しい教室の縮小も今後検討。また、障がいの有無にかかわらず誰もが楽しく参加できる教室の開催を検討する。そして、より多くの市民に参加の機会を設けるため、広報の仕方を工夫する（各教室独自のチラシ配布）といった視点を持ちながら、状況を注視していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	21	説明資料	45	項目番号	3(2)
事務事業名	市民体育大会										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												スポーツ振興課		

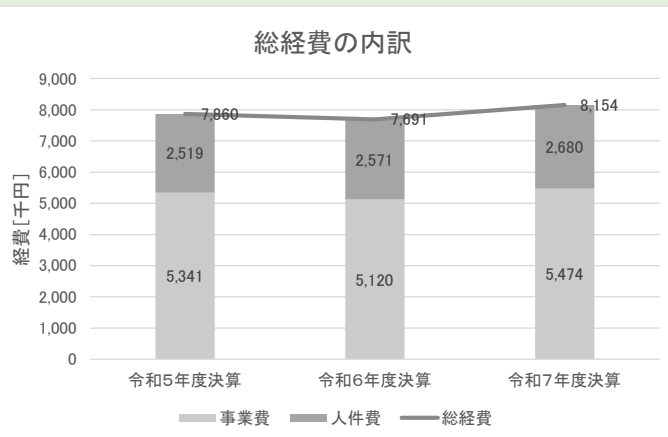
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務							
根拠法令	スポーツ基本法第22条							
事業目的	市民の体力づくり、本市体育・スポーツの振興と競技力向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	横須賀市スポーツ協会加盟の各種目団体に委託し年間を通じて38種目（合気道、アーチェリー、カヌー、空手道、弓道、グラウンド・ゴルフ、クレー射撃、ゲートボール、剣道、ゴルフ、サッカー、山岳、銃剣道、柔道、少林寺拳法、水泳、スキー、相撲、ソフトテニス、ソフトボール、太極拳、体操、卓球、ダンススポーツ、テニス、なぎなた、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ハンドボール、ボウリング、ボクシング、野球、ヨット、ライフル射撃、ラグビー、陸上競技、レスリング）の市民体育大会を開催する。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,341	5,120	5,474	5,514	千円
b 人件費	2,519	2,571	2,680	2,656	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	7,860	7,691	8,154	8,170	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
横須賀市スポーツ協会に加盟している種目団体へ委託し、市民体育大会を33種目実施した。	横須賀市スポーツ協会に加盟している種目団体へ委託し、市民体育大会を33種目実施した。	横須賀市スポーツ協会に加盟している種目団体へ委託し、市民体育大会を35種目実施した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	会場調整が見つからない等の理由により大会を実施できない団体が今年度は少なく、前年より多くの団体が大会を実施できた。その結果、横須賀市スポーツ協会加盟各団体への業務委託料は、前年と比較して増加した。	
今後の事業 の方向性	例年約3万人もの選手が参加する横須賀市最大の競技大会となっている。 本市全体のスポーツ振興に効果をあげており、スポーツ協会と連携した事業として維持継続すべきと考える。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	46	項目番号	3(3)
事務事業名	各種競技大会事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										スポーツ振興課		

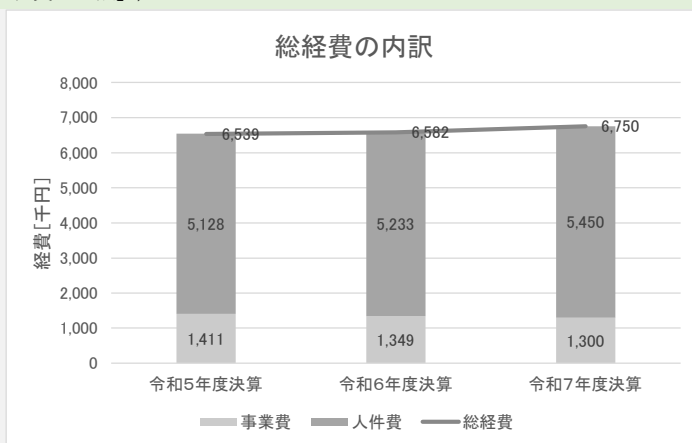
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	スポーツ基本法第22条							
事業目的	市民の健康・体力増進、競技力向上、青少年の心身の健全育成を行いながら、地域のスポーツ振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	【秋山翔吾カップ(横須賀市少年野球大会)】青少年の心身の健全育成を目的として9月末から10月初旬にかけて2週に渡り開催され、令和7年度には第72回を数える歴史ある軟式少年野球大会。市内各地域にある少年野球チームが一堂に会し、小学生、中学生別のトーナメント方式により対戦する。 【ソレイユの丘駅伝(横須賀市民駅伝競走大会)】毎年1月中旬、約100チーム(約600名)が参加し、令和7年度には第80回を数える歴史ある市民駅伝競走大会。市民が健脚を競い合うこの大会は、令和5年度からリニューアルオープンした長井海の手公園ソレイユの丘で開催。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,411	1,349	1,300	1,661	千円
b 人件費	5,128	5,233	5,450	5,402	千円
正規職員	0.6	0.6	0.6	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	90	90	90	90	千円
総経費（a + b）	6,539	6,582	6,750	7,063	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
	【第1回秋山翔吾カップ(第70回横須賀市少年野球大会)】 参加チーム数 学童部16チーム、中等部10チーム。 【ソレイユの丘駅伝(第78回横須賀市民駅伝競走大会)】 参加チーム数 90チーム。	【第2回秋山翔吾カップ(第71回横須賀市少年野球大会)】 参加チーム数 学童部16チーム、中等部10チーム。 【ソレイユの丘駅伝(第79回横須賀市民駅伝競走大会)】 参加チーム数 101チーム。	【第3回秋山翔吾カップ(第72回横須賀市少年野球大会)】 参加チーム数 学童部18チーム、中等部8チーム。 【ソレイユの丘駅伝(第80回横須賀市民駅伝競走大会)】 参加チーム数 103チーム。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	総経費は、令和5年度6,539千円、令和6年度6,582千円、令和7年度6,771千円と、緩やかに増加している。事業費は1,411千円、1,349千円、1,300千円と減少しており、運営方法の見直し等により効率化が進んでいる。一方、人件費は5,128千円、5,233千円、5,471千円と増加しており、両大会の安定的な運営や参加者対応、調整業務等に必要な人員体制を確保したことが要因である。 活動実績は両大会とも概ね安定して推移し、ソレイユの丘駅伝では参加チーム数が増加しており、事業の定着と市民参加の拡大が見られる。		
今後の事業 の方向性	【秋山翔吾カップ(横須賀市少年野球大会)】これまでは児童生徒の夏季休暇中に開催をしていたが、令和7年度から熱中症事故防止のため、9月末から10月初旬の2週に亘り開催した。 【ソレイユの丘駅伝(横須賀市民駅伝競走大会)】くりはま花の国周回コースで行っていた大会を、平成27年度の第70回大会を機に、交通状況等の課題を解決するためにも、装いを新たに長井海の手公園ソレイユの丘の園内周回コースに会場を変更した。参加するランナーと一般来場者の双方に楽しんでもらえるような仕掛けづくり等を検討しながら維持継続できるようにしていく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	46	項目番号	3(4)
事務事業名	国県体育大会等選手派遣事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										スポーツ振興課		

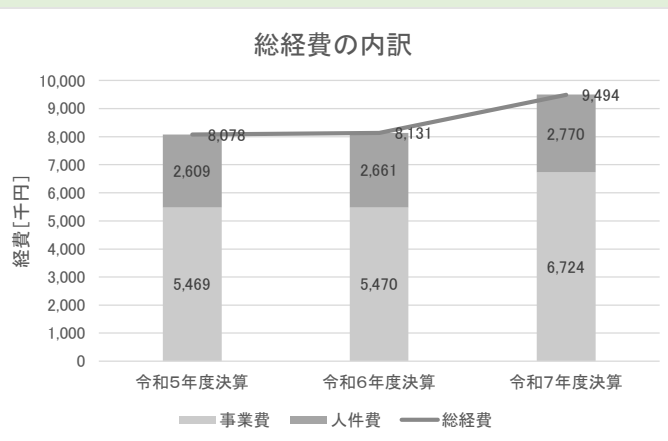
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第6条、第20条						
事業目的	全国大会等の出場選手・チーム・役員のスポーツ大会への参加を支援する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	(1)本市在住・在勤・在学者の国民スポーツ大会等及び全国大会・国際スポーツ大会出場者に対する支援。 (2)上記(1)の申請者のうち、国の強化選手指定等を受けた者に対する支援。 (3)本市国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会出場者の壮行会開催に係る経費。 (4)市町村対抗ながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し参加することによって、競技力の向上や他都市とのスポーツの交流を図る。 (5)秋山翔吾Special Match KUROFUNE CUPへの代表選手団を派遣によりプロアスリートや他都市との交流を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,469	5,470	6,724	6,867	千円
b 人件費	2,609	2,661	2,770	2,746	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	90	90	90	90	千円
総経費（a + b）	8,078	8,131	9,494	9,613	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人320人、団体11チーム) 国体に出場する44名に対して壮行会を実施した。 第78回市町村対抗かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し、参加した。(4位)	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人327人、団体5チーム) 国民スポーツ大会等に出場する39名に対して壮行会を実施した。 第79回市町村対抗かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し、参加した。(5位) 横須賀盛り上げ大使である秋山選手と縁のある下田市選抜チームとの秋山翔吾Special Match KUROFUNE CUPを開催した。(本市選抜選手14名を派遣)。	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人314人、団体12チーム) 国民スポーツ大会等に出場する36名に対して壮行会を実施した。 第80回市町村対抗かながわ駅伝競走大会は、開催中止。(積雪及び路面凍結のため) 横須賀盛り上げ大使である秋山選手と縁のある下田市選抜チームとの交流試合を行う秋山翔吾Special Match KUROFUNE CUPへ選手を派遣した。(本市選抜選手21名を派遣)。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	奨励金の交付件数は制度の認知度の上昇もあり、コロナ前の年度と比較しても増加する結果となった。	
今後の事業の方向性	スポーツ大会出場者奨励金は、申請件数も増加傾向にあり、且つ、市内の競技力向上の一役を担う事業であるため、今後も維持継続していく。 また、国民スポーツ大会等出場者への壮行会の開催については、共催である横須賀市スポーツ協会と協議し検討を進める。 市町村対抗かながわ駅伝競走大会についても、主催する神奈川県を中心に、県内各自治体が申し込み等の事務を担う役割があるため、市陸上競技協会と連携を図り、大会に参画していく。 秋山翔吾Special Match KUROFUNE CUPについては本市出身のプロアスリートと小学生が触れ合う機会となるため、協力団体である下田市等と連携し、大会へ参画していく。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	47	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

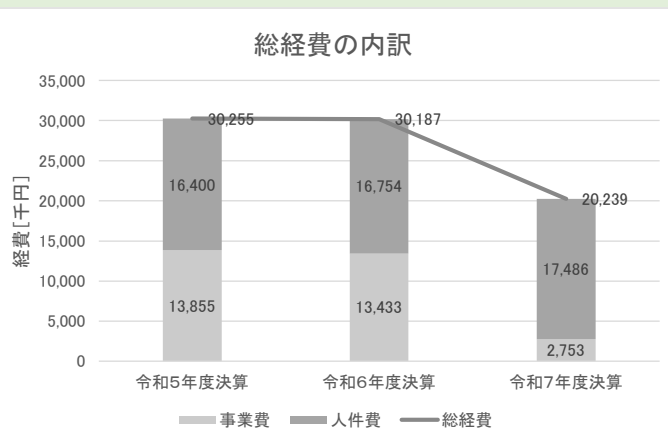
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	スポーツ基本法第24条							
事業目的	本市のレクリエーション活動の普及振興を図り、健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	市民が参加できるレクリエーションイベント(春季・秋季市民レクリエーション大会、よこすかスポーツフェスタ、児童・成人球技大会、YOKOSUKAサッカーフェスティバル)の実施、子どもの運動能力向上やスポーツの裾野拡大が期待できる事業(スポーツ能力測定会)の実施、夏休みを利用したラジオ体操の会を実施する各学区体育振興会等にラジオ体操精動賞状と出席カードの配布。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	13,855	13,433	2,753	3,071	千円
b 人件費	16,400	16,754	17,486	17,566	千円
正規職員	1.9	1.9	1.9	1.9	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	448	469	513	745	千円
総経費（a + b）	30,255	30,187	20,239	20,637	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・児童、成人球技大会参加チーム数 - 第1回秋山翔吾カップ（第64回児童ソフトボール大会） 10チーム - 第36回児童ミニバスケットボール大会 22チーム - 第63回成人ソフトボール大会 19チーム - 第63回成人バレーボール大会 28チーム ・春季市民レクリエーション大会 参加者数 約400人 ・よこすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会 参加者数 5,230人 ・リズムトレーニング派遣事業 実施校 15校 - 指導者向け講習会 1回 ・市民登山の会に補助金交付 ・ラジオ体操カード 12, 055枚 ・スポーツ能力測定会 161人	・児童、成人球技大会参加チーム数 - 第2回秋山翔吾カップ（第65回児童ソフトボール大会） 10チーム - 第37回児童ミニバスケットボール大会 22チーム - 第64回成人ソフトボール大会 雨天中止 - 第64回成人バレーボール大会 28チーム ・春季市民レクリエーション大会 参加者数 約830人 ・よこすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会 参加者数 約11,300人 ・リズムトレーニング派遣事業 実施校 26校 - 指導者向け講習会 1回 ・市民登山の会に補助金交付 ・ラジオ体操カード 10,520枚 ・スポーツ能力測定会 161人	・児童、成人球技大会参加チーム数 - 第3回秋山翔吾カップ（第66回児童ソフトボール大会） 8チーム - 第38回児童ミニバスケットボール交流大会 21チーム - 第65回成人ソフトボール大会 13チーム - 第65回成人バレーボール大会 28チーム ・よこすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会 参加者数 約10,800人 ・春季市民レクリエーション大会 参加者数 約830人 ・ラジオ体操カード 10,290枚 ・スポーツ能力測定会 160人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・リズムトレーニング派遣事業を教育委員会へ事務移管したことによる委託料の減。 ・市民登山の会への補助金を終了したことによる減。
今後の事業の方向性	スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民の健康増進という目的のほかに、スポーツの裾野拡大や競技力向上、ニュースポーツの普及や異種目交流という側面もあり、維持継続すべきと考える。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	48	項目番号	4
事務事業名	社会体育団体等補助金									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

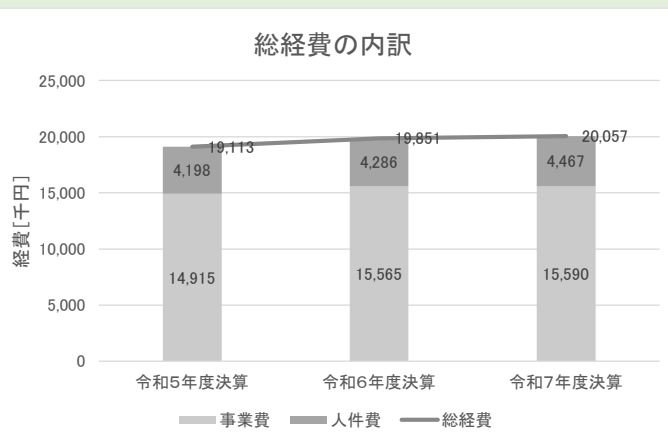
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	スポーツ基本法第34条							
事業目的	体育・スポーツ団体の育成、競技力向上、地域生涯スポーツ振興を補助し、市内の体育・スポーツの普及振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	社会体育団体等が実施する事業を助成するため以下の補助金を交付する。 (1)横須賀市スポーツ協会補助金 (2)横須賀市レクリエーション協会補助金 (3)横須賀市スポーツ少年団補助金 (4)学区体育振興会補助金							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	14,915	15,565	15,590	15,990	千円
b 人件費	4,198	4,286	4,467	4,427	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	19,113	19,851	20,057	20,417	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(7,360,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(26団)へ補助金を交付した。(390,000円) 学区体育振興会(41学区)へ補助金を交付した。(6,765,000円)		横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(7,860,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(25団)へ補助金を交付した。(375,000円) 学区体育振興会(42学区)へ補助金を交付した。(6,930,000円)	横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(41種目)へ補助金を交付した。(7,775,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(330,000円) 横須賀市スポーツ少年団(26団)へ補助金を交付した。(390,000円) 学区体育振興会(43学区)へ補助金を交付した。(7,095,000円)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和6年度において、(一財)シティサポートよこすかからの寄附に基づくスポーツ協会への補助金増(500,000円)、横須賀市スポーツ少年団が1団減少(△15,000円)、学区体育振興会の補助金申請件数が1件増加(165,000円)。 令和7年度において、(一財)シティサポートよこすかからの寄附に基づくスポーツ協会への補助金減(▲250,000円)、横須賀市レクリエーション協会補助金を加盟2団体が辞退したことによる減(▲70,000円)、横須賀市スポーツ少年団の加入1団増(15,000円)、スポーツ協会の加盟団体1増(165,000円)、学区体育振興会の補助金申請件数が1件増加(165,000円)。		
今後の事業の方向性	市と連携して本市のスポーツ振興等に取り組んでいるため、事業は維持継続し、引き続き各団体の活発な活動を後押しする。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	49	項目番号	5(1)
事務事業名	スポーツ基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務							
根拠法令	基金条例							
事業目的	施設の整備(体育会館運営事務費)やスポーツに参加する人への支援(国県体育大会等選手派遣事業)、ホームタウンチームとの連携事業(ホームタウンチーム活動推進事業)などにスポーツ基金を充当し、市民スポーツの振興及びスポーツ資源を活用した地域活性化に資する。					分野別計画		
具体的な事業内容	当年度中の「ふるさと納税」等による指定寄附と運用利子で得た収入を積み立てる。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	13,646	54,379	63,215	63,215	千円
b 人件費	1,457	1,487	1,876	1,860	千円
正規職員	0.1	0.1	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	89	89	89	89	千円
総経費（a + b）	15,103	55,866	65,091	65,075	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
ふるさと納税による指定寄附 13,645,000円 運用利子 1,015円	ふるさと納税による指定寄附 52,934,268円 団体からの指定寄附 1,433,201円 運用利子 12,317円	ふるさと納税による指定寄附 63,011,801円 運用利子 203,232円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	ふるさと納税の寄附金額が増加し、スポーツ基金への割り当てが増えたため増となった。
今後の事業 の方向性	積極的な財源確保のため、引き続き継続する。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	50	項目番号	7(1)
事務事業名	スポーツ選手応援事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

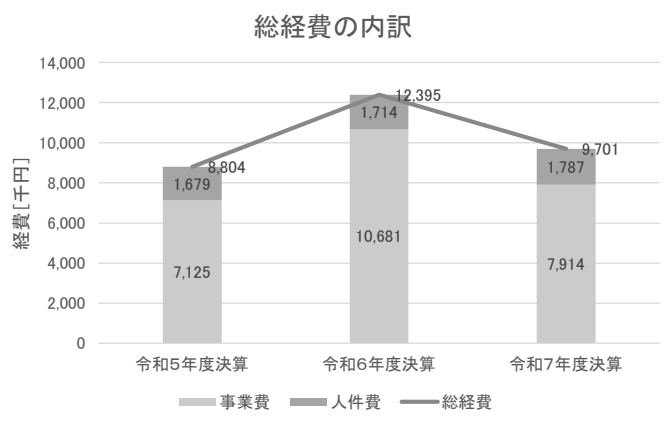
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	市内トップアスリートの育成等を目的とし、企業や個人からの寄附金も活用しながら、選手の活動を支援する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	対象の選手は、市内在住・在勤・在学で、オリンピック・パラリンピック強化指定選手、各競技団体(オリンピック・パラリンピック・デフリンピック)の強化指定選手、JOCエリートアカデミー選手のいずれかに該当する者。寄附者が選手を指定して寄附した場合は、その選手に全額を交付し、指定がない場合は対象選手に均等分配する。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	7,125	10,681	7,914	11,025	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	8,804	12,395	9,701	12,796	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
企業版ふるさと納税で市外企業 1 社、指定寄附で市内企業・団体 9 社、個人 80 名から合計 6,105 千円の寄附があり、対象選手 6 名に寄附金とスポーツで夢をかなえる基金繰入金 1,000 千円と一般財源からの端数不足分の補填 20 千円の合計 7,125 千円を分配し、奨励金を交付した。		企業版ふるさと納税で市外企業 5 社、指定寄附で市内企業・団体 8 社、個人 31 名から合計 9,615 千円の寄附があり、対象選手 7 名に寄附金とスポーツで夢をかなえる基金繰入金 1,000 千円と一般財源からの端数不足分の補填 50 千円の合計 10,665 千円を分配し、奨励金を交付した。	企業版ふるさと納税で市外企業 1 社、指定寄附で市内企業・団体 12 社、個人 27 名から合計 6,814 千円の寄附があり、対象選手 9 名に寄附金と一般財源 1,000 千円と一般財源からの端数不足分の補填 80 千円の合計 7,894 千円を分配し、奨励金を交付した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	当該事業は寄附を財源としているため、各年度の寄附の状況により、総経費の増減が生じている。 令和 6 年度は、企業版ふるさと納税の寄附が特に多かったため、事業費が増となった。		
今後の事業 の方向性	奨励金をより多くの本市ゆかりの選手に届け、競技活動を支援するため維持継続していく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	21	説明資料	50	項目番号	8(1)(2)																
事務事業名		自動車損害共済基金分担金および一般事務費									所管部課名		文化スポーツ観光部 スポーツ振興課																	
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務																													
根拠法令																														
事業目的	スポーツ振興課の業務全般に係る総務的な事務を円滑に遂行する									分野別計画																				
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度決算		令和 7 年度予算		単位																	
a 事業費（予算現額・支出済額）					859		841		786		817		千円																	
b 人件費					1,877		1,912		1,985		1,969		千円																	
正規職員					0.2		0.2		0.2		0.2		人																	
再任用職員（短時間を含む）					0.0		0.0		0.0		0.0		人																	
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					198		198		198		198		千円																	
総経費（a + b）					2,736		2,753		2,771		2,786		千円																	
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>859</td><td>1,877</td><td>2,736</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>841</td><td>1,912</td><td>2,753</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>786</td><td>1,985</td><td>2,771</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	859	1,877	2,736	令和6年度決算	841	1,912	2,753	令和7年度決算	786	1,985	2,771
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	859	1,877	2,736																											
令和6年度決算	841	1,912	2,753																											
令和7年度決算	786	1,985	2,771																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)																				
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）		特になし。																												
今後の事業の方向性		社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務を執行する。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	50	項目番号	8(3)
事務事業名	スポーツ推進審議会									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

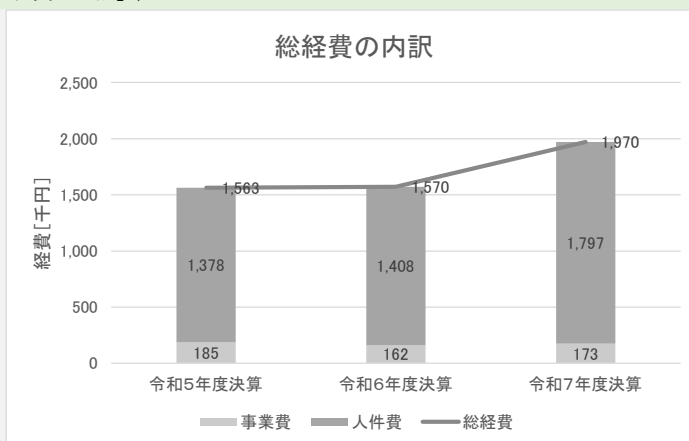
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第31条、スポーツ推進審議会条例						
事業目的	本市のスポーツ推進の重要事項について調査審議する					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	委員は12名で、その内訳は、公募市民2名、関係団体代表者10名(学区体育振興会、神奈川県立保健福祉大学、神奈川県バラスポーツ指導者協議会、レクリエーション協会、横須賀市スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ指導者協議会、中学校体育連盟、小学校体育研究会、スポーツ推進委員協議会)で構成されている。年度内に2～3回会議を開き本市のスポーツ推進に関し審議を重ねている。主な審議内容は、毎年度のスポーツ関係事業の進捗状況や当該年度の予算主要事業の報告並びに計画策定など。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	185	162	173	405	千円
b 人件費	1,378	1,408	1,797	1,781	千円
正規職員	0.1	0.1	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	10	10	10	10	千円
総経費（a + b）	1,563	1,570	1,970	2,186	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
会議開催数 2回 参加委員数 延16名	会議開催数 2回 参加委員数 延17名	会議開催数 2回 参加委員数 延15名

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和6年度から7年度について、担当職員が再任用職員から正規職員になったため、人件費が増加した。
今後の事業の方向性	令和8年度は、横須賀市スポーツ推進計画の改定を中心に、スポーツ推進に関する審議を重ねていく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	21	説明資料	50	項目番号	8(4)
事務事業名	スポーツ推進委員										所管部課名	文化スポーツ観光部		
												スポーツ振興課		

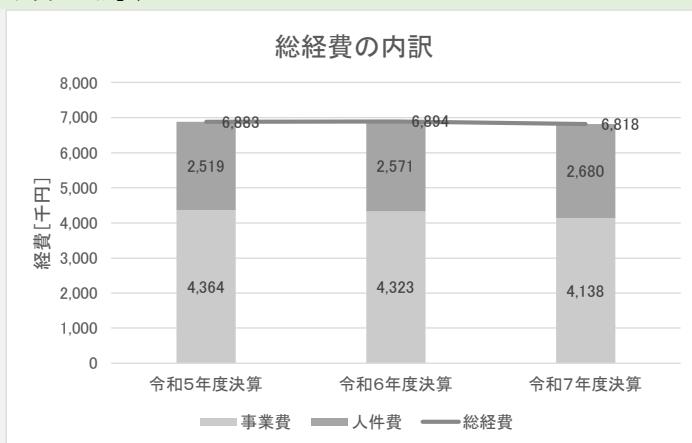
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第32条						
事業目的	スポーツ基本法第32条に基づき、本市スポーツ活動推進のため、事業実施に係る連絡調整並びに実技指導その他スポーツに関する指導助言を行い、地域住民の健康増進、体位向上を図るとともに講習会、研修会等への参加を通じて資質の向上を図ることを目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	スポーツ推進委員は、学区体育振興会を推薦母体とし、委員相互の連絡調整とスポーツ推進のための体制を整備することを目的に、横須賀市スポーツ推進委員協議会を組織しており、定数は322名以内となっている。所属する学区体育振興会主催の健民運動会、歩こう会、児童ソフトボール大会等の企画・運営及び本市主催のレクリエーション関係事業等に積極的に協力参加する。また、資質向上のため、各種研究大会・実技研修会に参加している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,364	4,323	4,138	4,704	千円
b 人件費	2,519	2,571	2,680	2,656	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	6,883	6,894	6,818	7,360	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
スポーツ推進委員数 287人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 278人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 3回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 267人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	協議会主管による事業活動は予定どおり行うことができ、総経費も前年度と同水準となった。
今後の事業の方向性	スポーツ推進委員は本市のスポーツ振興に欠かせない存在であるため、事業は維持継続し、活発な活動を後押しする。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	21	説明資料	51	項目番号	8(5)
事務事業名	スポーツ表彰事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

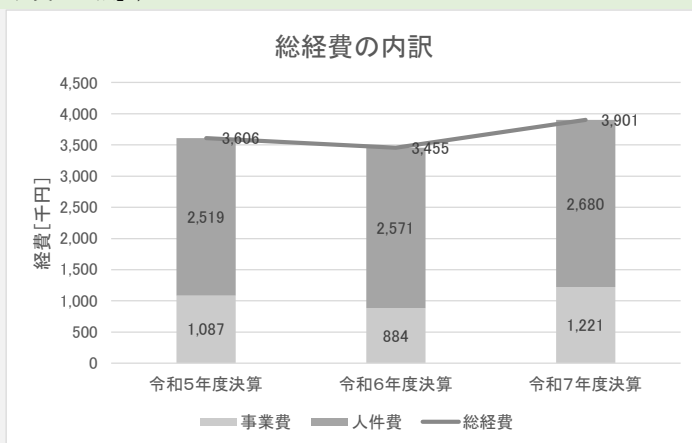
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務							
根拠法令	スポーツ基本法第20条							
事業目的	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方の表彰並びに本県の代表として全国、世界大会へ出場した選手を表彰することにより体育行政全体の活力を呼びおこし、かつ選手の技術向上を目指す意識を高める。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	体育功労者に対しては、本市体育振興に功績のあった者に対して、また、スポーツ栄光章に対しては、本県の代表選手として全国大会等に出場し、顕著な成績を挙げた者に対して、毎年度末の2月に被表彰者を一堂に会し表彰状の授与および功労者には楯と徽章、栄光章にはメダルを授与し、その功績を称えている。また、オリンピック等において顕著な成績を収めた個人または団体に横須賀市スポーツ大賞・特別賞の表彰を行う。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,087	884	1,221	1,223	千円
b 人件費	2,519	2,571	2,680	2,656	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,606	3,455	3,901	3,879	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人9名、団体2チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人49人、団体8チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞(個人3人)、スポーツ特別賞(個人1人)を贈った。		長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人9名、団体2チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人71人、団体7チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞(個人1人)を贈った。	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人8名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人68人、団体7チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞(個人3人)、スポーツ特別賞(個人3人)を贈った。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和6年度はスポーツ大賞受賞者が減少したことから、トロフィーや副賞の経費が下がったことにより前年度比減となった。 令和7年度はスポーツ大賞・特別賞の受賞者が増加したことによるトロフィーや副賞の経費増や、アトラクションにかかる謝礼が増加したこと等により前年度比増となった。		
今後の事業の方向性	長年の体育功労者や優秀な成績を収めた選手の功績を称する機会であるため今後も継続する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	22	説明資料	53	項目番号	1(1)
事務事業名	体育会館管理委託費(指定管理委託料)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

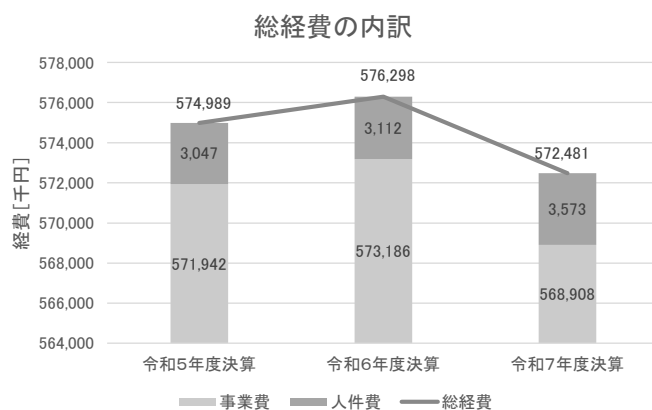
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等社会体育振興の場の提供や市民の健康増進のため、体育会館施設の運営維持管理業務を委託する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育会館施設の第5期(令和4年4月1日～令和9年3月31日)指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ管理運営を委託し、管理にかかる委託金等を支出する。						
	体育会館施設:総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	571,942	573,186	568,908	573,404	千円
b 人件費	3,047	3,112	3,573	3,541	千円
正規職員	0.3	0.3	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	574,989	576,298	572,481	576,945	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額571,942千円を支出した。 体育会館施設使用人員：700,461人	指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額573,186千円を支出した。 体育会館施設使用人員：731,395人	指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額568,908千円を支出した。 体育会館施設使用人員：785,231人
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度は水道・下水道使用料が改定になり事業費が増加、令和6年度は施設改修工事等による休館補填額が増加、令和7年度は施設改修工事に伴う休館により生じた人件費等の削減額が、市に戻入されたことが主な増減要因である。	
今後の事業 の方向性	今後も指定管理施設として指定管理者に委託し運営する。運営にあたっては、利用料金収入の増を目標としながら、市民のスポーツや運動をする場を提供する。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	22	説明資料	54	項目番号	1(2)
事務事業名	体育会館管理委託費(指定管理施設光熱費等補助金)									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

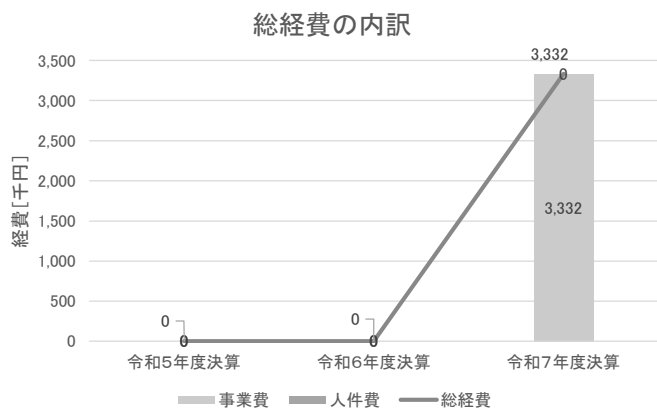
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	学校教育としての側面もさることながら、地域の活性化や市民向けスポーツ振興を目的としている。そのため、指定管理者が運営する体育施設において、昨今の光熱費の高騰によって安定した施設運営に支障をきたすことを防ぐために、光熱費等高騰分の支援を行うもの。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育会館施設の第5期(令和4年4月1日～令和9年3月31日)指定管理者であるスポーツコミュニティよこすかに、光熱費等高騰分の支援を行うもの。 体育会館施設:総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)・北体育会館・南体育会館(くりはま花の国プール含)・西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	3,332	3,332	千円
b 人件費	0	0	0	0	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	0	3,332	3,332	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
—	—	指定管理者が運営する施設において、光熱費の高騰によって安定した施設運営に支障をきたすことを防ぐために、令和7年1月から3月までの光熱費等高騰分の支援を行った。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和7年度の支出額について、当初は令和6年度予算から繰り越した予算で賄う予定であったが、光熱費の高騰が想定よりも上回ったため、不足分を令和7年度予算から支出したものである。 ・指定管理者に対し、総務費として3,332千円、教育費として3,862千円、合計7,194千円の支援を行った。なお、令和7年度は20,732千円を令和8年度の総務費に繰越している。
今後の事業 の方向性	光熱水費等の状況を鑑みながら判断していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	体育会館営繕工事費	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

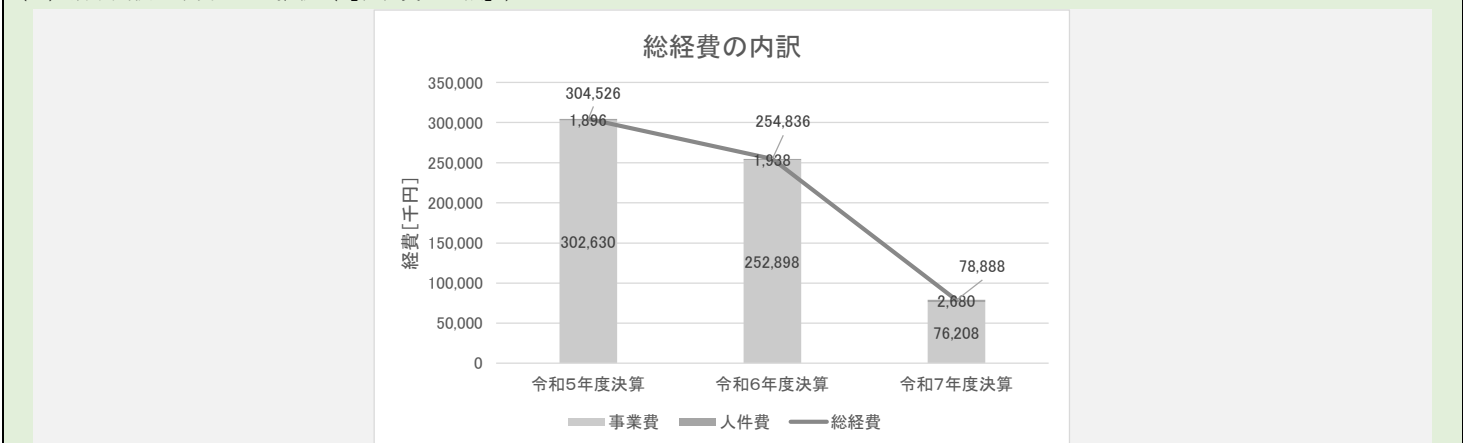
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	施設の維持管理に係る業務							
根拠法令								
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	体育会館施設の改修工事を行う。 体育会館施設：総合体育会館（メインアリーナ、サブアリーナ）、北体育会館、南体育会館（くりはま花の国プール含）、西体育会館（佐島の丘温水プール含）							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	302,630	252,898	76,208	99,720	千円
b 人件費	1,896	1,938	2,680	2,656	千円
正規職員	0.1	0.1	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.2	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	304,526	254,836	78,888	102,376	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・南体育会館特定天井改修その他工事 ・総合体育会館サブアリーナレストラン空調設備改修工事 ・南体育会館非常用発電機改修工事	・南体育会館空調設備工事 ・サブアリーナ熱源設備 ・メインアリーナ照明主操作盤 ・北体育会館照明主操作盤 ・北体育会館プール天井灯更新	・北体育会館プール用給湯設備改修その他工事 ・総合体育会館サブアリーナ中水ろ過設備改修工事 ・くりはま花の国プール換気設備改修工事

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	工事内容や単価、件数により、総経費が年度毎に増減が生じる。
今後の事業の方向性	施設管理において、安全性や利便性の向上のため、設備の改修工事は必須である。引き続き、優先度を踏まえ予算計上していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	22	説明資料	55	項目番号	3(1)
事務事業名	体育会館運営事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部		
									所管部課名	スポーツ振興課		

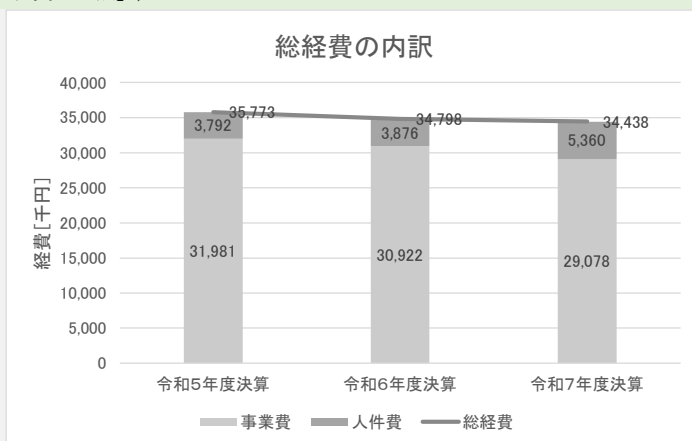
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	修繕、スポーツ用具等備品の購入、公共施設予約システムの通信機器の使用など、体育会館施設の運営にかかる事務費を計上し執行する。 体育会館施設：総合体育会館（メインアリーナ、サブアリーナ）、北体育会館、南体育会館（くりはま花の国プール含）、西体育会館（佐島の丘温水プール含）						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	31,981	30,922	29,078	29,136	千円
b 人件費	3,792	3,876	5,360	5,312	千円
正規職員	0.2	0.2	0.6	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.4	0.4	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	35,773	34,798	34,438	34,448	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
修繕料 19,412千円 公共予約システム関連経費 779千円 体育器具購入費 11,386千円 事務費 404千円	修繕料 10,229千円 公共予約システム関連経費 779千円 体育器具購入費 19,521千円 事務費 393千円	修繕料 24,495千円 公共予約システム関連経費 814千円 体育器具購入費 3,080千円 事務費 690千円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	修繕内容や購入した備品の単価や件数により、総経費は年度毎に増減が生じる。
今後の事業 の方向性	施設運営において、安全性や利便性の向上のため、設備等の修繕や備品の購入は必須である。引き続き、緊急性や優先度を鑑み、予算計上していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	2	説明資料	62	項目番号	4(1)
事務事業名	上町地域振興対策事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										商業振興課		

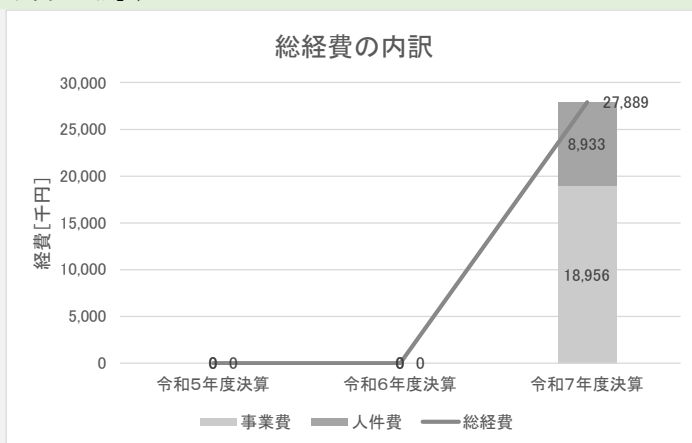
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市市	受益者負担	あり	事業終了の見込	R7	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	令和7年3月のうわまち病院移転後、上町地域への人流が大幅に減少したことを踏まえ、人流回復及びにぎわい創出を図るため、消費促進事業や地域と連携した取り組みの実施や、旧病院の駐車場を活用するための環境整備を行う。					分野別計画		
具体的な事業内容	(1) 地域限定のプレミアム付と事業への支援や、地域と連携した取り組みにより商店街への周遊を図る。 (2) 旧うわまち病院駐車場等を整備し、商店街や町内会、民間団体等に貸し出し、イベントの開催による来街を促す。 (3) 旧うわまち病院の一部を遊具広場として整備し、上町地域での恒常的な集客につなげる。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	18,956	25,000	千円
b 人件費	0	0	8,933	8,853	千円
正規職員	0.0	0.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	0	27,889	33,853	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
なし	なし	(1)上町地域の商店街が行う電子によるプレミアム付与事業への補助 事業費 1回目(35店舗):1,684,734円 2回目(37店舗):4,501,984円 (2)旧うわまち病院駐車場の開放によるイベント開催支援 申請件数 18件(うち雨天中止4件) (3)遊具広場の整備 ・人工芝の敷設 ・遊具の設置 3台 ・防犯カメラ、トイレの整備 等

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和7年度から事業を開始し、初年度は旧うわまち病院の整備等に費用を要した。 また、整備されたイベント広場を活用して、商店街による新たな取り組みが実施され、支援を行った。
今後の事業 の方向性	当初のうわまち支援のための整備を単年度で行った。次年度以降は既存事業の中で商店街等への継続的な支援を続けていく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	68	項目番号	3(3)
事務事業名	日米親善よこすかスプリングフェスタ事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										観光課		

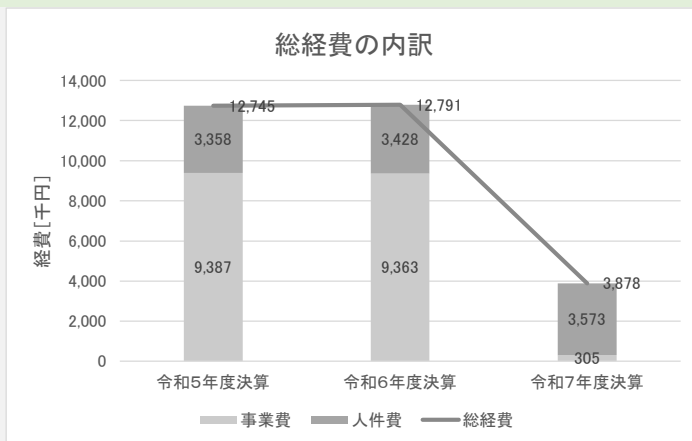
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	「日米親善よこすかスプリングフェスタ」を開催することで、日米間の友好親善を図るとともに、市内外に広く宣伝することにより、『横須賀の観光』のイメージアップを推進し、交流人口の増加を図る。					分野別計画	横須賀市観光立市推進基本計画	
具体的な事業内容	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	9,387	9,363	305	11,051	千円
b 人件費	3,358	3,428	3,573	3,541	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	12,745	12,791	3,878	14,592	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日: 令和6年3月23日(土) 会 場: 米海軍横須賀基地 来場者数: 23,000人 備 考: 混雑対策のため、事前予約制により実施	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日: 令和7年3月22日(土) 会 場: 米海軍横須賀基地 来場者数: 55,000人 備 考: 事前予約制は取りやめ	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日: 令和8年3月21日(土) ※国際情勢を踏まえ、開催中止。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和5年度は、令和4年度に事前予約制を導入したことで問い合わせ件数が多くなり、これを対策するための専用コールセンターを設置したことで、物価高騰の影響を受け、さらに経費が増となった。 ・令和6年度は、事前予約制は行わなかったが、物価や人件費の高騰により前年同程度の事業費となった。 ・令和7年度は国際情勢を踏まえ、開催中止。
今後の事業 の方向性	・令和6年度は天候にも恵まれ、来場者は前年度を大きく上回る55,000人に上るなど集客面において魅力が高く、市外の方々に横須賀を知っていただき、そして来訪していただく機会となっている。また、普段とは違う米海軍横須賀基地内の雰囲気の中で、飲食や買い物ができることを多くのの方々が楽しみにしているイベントであり、日米間の友好親善を図ることのできる数少ないイベントの一つともなっている。 ・令和7年度は、国際情勢を踏まえ止む無く中止の判断となったが、今後も引き続き米海軍横須賀基地との協議、調整のもと、事業を実施していきたい。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	69	項目番号	4(1)
事務事業名	観光団体助成事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										観光課		

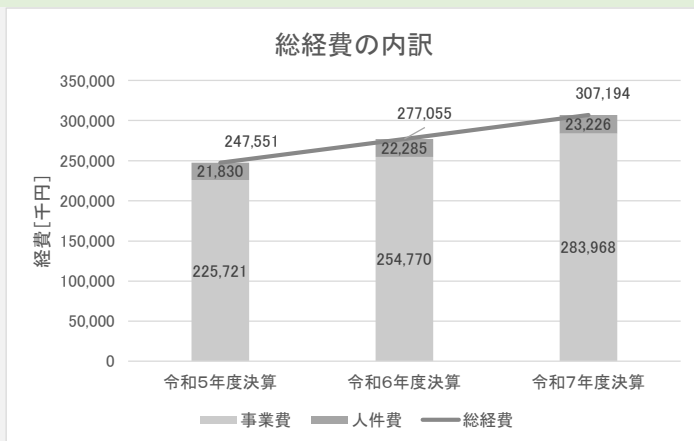
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことで、本市の観光振興・経済の活性化を図る。					分野別計画	横須賀市観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	1 (一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付(観光案内所の運営、よこすかシティガイドの活動支援、人件費等) 2 (一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付(よこすかYYのりものフェスタ、よこすか開国花火大会、よこすかみこしバレード、日米観音ベース歴史ツアー、海上自衛隊戸台分庁舎一般公開) 3 カレーの街よこすか推進委員会への負担金(広報活動、キャンペーン事業・イベント活動(よこすかカレーフェスティバル等の開催)・宣伝物制作(よこすか海軍カレーガイドブック等)) 4 各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 5 観光行事への市長賞交付 6 海水浴場の開設補助						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	225,721	254,770	283,968	293,819	千円
b 人件費	21,830	22,285	23,226	18,591	千円
正規職員	2.6	2.6	2.6	2.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	247,551	277,055	307,194	312,410	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
(1) (一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2) (一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2023 イ よこすか開国花火大会2023(開催中止) ウ 第44回よこすかみこしバレーード エ 日米親善ペース歴史ツアー オ 海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開 (3) カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2023の開催及びガイドブックの発行 (4) 各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計34件 イ 各種観光団体主催事業 計6件 (5) 観光行事への市長賞交付 計8件 (6) 海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)	(1) (一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2) (一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2024 イ よこすか開国花火大会2024 ウ 第45回よこすかみこしバレーード エ 日米親善ペース歴史ツアー オ 海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開 (3) カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2024の開催及びガイドブックの発行 (4) 各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計36件 イ 各種観光団体主催事業 計4件 (5) 観光行事への市長賞交付 計8件 (6) 海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)	(1) (一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2) (一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2025 イ よこすか開国花火大会2025(開催中止) ウ 第46回よこすかみこしバレーード エ 日米親善ペース歴史ツアー オ 海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開 (3) カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2025の開催に向けた準備業務(開催中止)及びガイドブックの発行 (4) 各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計35件 イ 各種観光団体主催事業 計4件 (5) 観光行事への市長賞交付 計8件 (6) 海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類になり、各種イベントが再開した。また、昨今の物価高騰、人件費高騰の影響により経費が増加となっている。 ・令和6年度は、令和5年度よりさらに物価や人件費が高騰し、経費が増えたことにともない事業費が増加している。 ・令和7年度は、令和6年度よりさらに物価や人件費が高騰し、経費が増えたことにともない事業費が増加している。
今後の事業 の方向性	・当該事業は、各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことが地元経済の活性化の一助となっている。 ・また、本市観光振興の中核的組織である（一社）横須賀市観光協会への支援も、今後更なる機能強化推進のために継続する必要がある。 ・大型イベントなど各事業における経費負担については引き続き適正化を図る必要があると考えるため、イベント実施における経費負担を整理し、自主財源の確保等を検討する。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	71	項目番号	5(1)
事務事業名	観光地整備・美化事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											観光課		

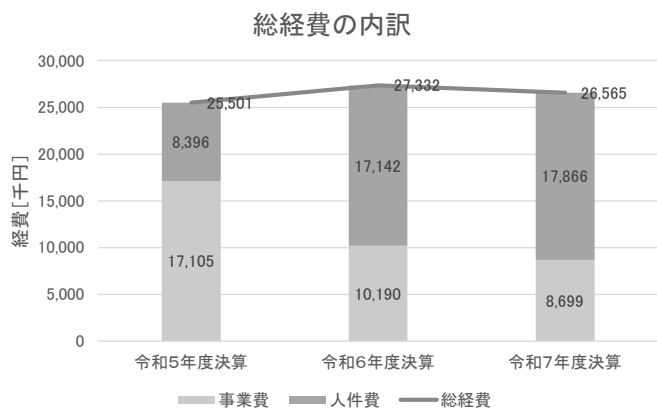
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	観光施設の整備及び観光地の美化事業を行うことにより、観光客に快適な環境及び情報を提供する。					分野別計画	横須賀市観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	1 大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 2 観光地の美化清掃 3 ハイキングコース巡視 4 観光施設案内看板等修繕 5 Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージの撤去						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	17,105	10,190	8,699	9,184	千円
b 人件費	8,396	17,142	17,866	17,706	千円
正規職員	1.0	2.0	2.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	25,501	27,332	26,565	26,890	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山山頂休憩所・大楠山公衆トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠山公衆トイレ用地借上げ ウ 大楠山公衆トイレ小破修繕 エ 大楠山公衆トイレ用地購入 (2)ハイキングコース等美化清掃 大楠山ほか7か所 延70回 (3)ハイキングコース巡視 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージ維持管理 (5)荒崎シーサイドコース防御欄補修修繕工事	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山・武山休憩所、大楠山公衆トイレの維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ ウ 大楠山公衆トイレ小破修繕 エ 大楠山ビューハウス建材成分分析調査 (2)ハイキングコース等美化清掃 大楠山ほか7か所 延70回 (3)ハイキングコース巡視 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージ維持管理 (5)旧荒崎シーサイドコース橋梁撤去	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山・武山休憩所、大楠山公衆トイレの維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ ウ 大楠山公衆トイレ小破修繕 (2)ハイキングコース等美化清掃 大楠山ほか7か所 延70回 (3)ハイキングコース巡視 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)案内板・表示板等の改修 (5)Yデッキ上、JR横須賀駅構内デジタルサイネージの廃止・撤去等
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	・観光施設やハイキングコースにおいて、老朽化した設備等の改修、通路やトイレ等の清掃・維持管理により観光客の利便性の向上を図り、快適なレクリエーション環境の提供を行っている。 ・単年度実施の工事による増減はあるが、美化清掃委託や小破修繕など定例的な経費であるため、基本的な経費に大きな増減はない。 ・デジタルサイネージは、機器の老朽化と機能不足が課題であったことから、事業見直しの結果、令和7年度に廃止・撤去を行った。	
今後の事業 の方向性	・大楠山・武山山頂などの観光施設やハイキングコース等を市が管理している間は、引き続き事業を継続する必要がある。 ・老朽化により、大楠山ビューハウス・展望塔は令和9年度に解体を行う。解体後の大楠山山頂のビジョンについて、大楠山全体の活用検討と併せて今後調整を進めていく。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	72	項目番号	6(1)
事務事業名	観光立市推進基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										観光課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務							
根拠法令								
事業目的	観光に関する意識の向上を図るため「観光立市推進基金」を平成30年度に創設し、観光立市推進基金への寄附を募り、観光の魅力発信や観光客の受け入れ環境の整備を進める。					分野別計画	横須賀市観光立市推進基本計画	
具体的な事業内容	・観光立市推進基金への指定寄附分の積立金 ・観光立市推進基金の運用利子分の積立金							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	10,477	109,404	95,533	102,320	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	11,317	110,261	96,426	103,205	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・観光立市推進基金利子収入 1,531円 ・ふるさと納税 10,475,874円 - 合計 10,477,405円	・観光立市推進基金利子収入 7,088円 ・ふるさと納税 109,396,898円 - 合計 109,403,986円	・観光立市推進基金利子収入 367,050円 ・ふるさと納税 89,166,406円 ・集客プロモーション事業指定寄附 1,000,000円 ・街なかミュージック支援事業指定寄附 5,000,000円 - 合計 95,533,456円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	- 令和5年度は、年度途中よりふるさと納税の寄附配分の運用方法の変更および各基金への寄附額割り当ての結果、若干の減額となった。 - 令和6年度は、ふるさと納税の寄附額の大幅増に伴い増となった。 - 令和7年度は、ふるさと納税の寄附額が減ったため減となった。
今後の事業の方向性	今後も割り当てられた寄附を有効に活用し、観光地としての知名度向上、観光地としての整備、集客事業等を実施していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	75	項目番号	1(1)
事務事業名	体育会館管理委託費(指定管理施設光熱費等補助金)									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											スポーツ振興課		

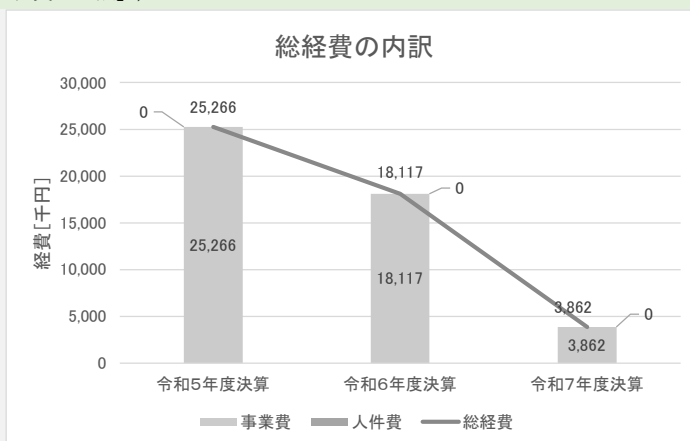
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	単にスポーツを実施するだけでなく、学びや成長といった学校教育に繋がることを目的としている。そのため、指定管理者が運営する体育施設において、光熱費の高騰によって安定した施設運営に支障をきたすことを防ぐために、光熱費等高騰分の支援を行うもの。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育会館施設の第5期(令和4年4月1日～令和9年3月31日)指定管理者であるスポーツコミュニティよこすかに、光熱費等高騰分の支援を行うもの。 体育会館施設:総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)・北体育会館・南体育会館(くりはま花の国プール含)・西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	25,266	18,117	3,862	3,862	千円
b 人件費	0	0	0	0	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	25,266	18,117	3,862	3,862	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
指定管理者が運営する施設において、光熱費の高騰によって安定した施設運営に支障をきたすことを防ぐために、令和5年4月～令和6年3月分までの光熱費等高騰分の支援を行った。	指定管理者が運営する施設において、光熱費の高騰によって安定した施設運営に支障をきたすことを防ぐために、令和6年4月～12月までの光熱費等高騰分の支援を行った。	指定管理者が運営する施設において、光熱費の高騰によって安定した施設運営に支障をきたすことを防ぐために、令和7年1月～3月までの光熱費等高騰分の支援を行った。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	令和7年度は20,732千円を令和8年度の総務費に繰越していることが主な減少要因である。 【令和7年度】指定管理者に対し、教育費として3,862千円、総務費として3,332千円、合計7,194千円の支援を行った。
今後の事業 の方向性	光熱水費等の状況を鑑みながら判断していく。